

平成26年版
消 防 年 報

小野市消防本部
平成27年刊行

はじめに

この年報は、平成26年中における小野市消防の主な消防事情について収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の必要な資料については、当該表に年月日を記載いたしました。

平成27年7月

小野市消防本部

消防訓

我々消防人は

ゆたかな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

自治体消防制度四十周年記念
昭和六十三年三月七日制定
小野市消防本部

目 次

□ 小野市の概要	1
□ 一目統計	2
□ 管轄区域・消防機関配置図	3
□ 消防庁舎の概要	4
□ 小野消防の現況	4
□ 小野市の平均	4
□ 小野市消防本部の組織	5
□ 小野消防の推移	6

【総 務】

□ 予算の内訳・前年度比較	7
□ 消防職員の表彰等状況	7
□ 消防職員年齢別状況	8
□ 消防職員の学校教育状況	9
□ 消防職員の配置状況	10
□ 消防力の現勢	10
□ 消防職員の免許・資格所有状況	11
□ 平成25年度消防施設整備事業	12

【予 防】

□ 消防用設備等設置状況	13
□ 防火対象物の状況	14
□ 月別・地区別建築同意状況	15
□ 用途・工事別建築同意状況	15

□ 各種届出指示状況	16
□ 一般家庭・高齢者（独居） 家庭の防火診断実施状況	16
□ 中高層建築物等状況	16
□ 危険物施設状況	17
□ 許可・完成検査・承認数状況	17
□ 危険物規制事務処理状況	18
□ 危険物施設立入検査状況	18
□ 過去5年間の危険物施設数 （完成検査済）状況	19
□ 手数料収入額状況	19
□ 県委譲事務処理状況	19
□ 防火防災組織の状況	20

【消 防】

□ 平成26年火災概要	21
□ 火災損害状況	22
□ 地区別火災概要	22
□ 過去10年間の火災概要	23
□ 火災状況前年比較	24
□ 月別火災発生状況	25
□ 時間別火災発生状況・ 曜日別火災発生状況	26
□ 地区別火災発生状況 地区別火災損害額状況	27
□ 出火原因別状況	28

□ 建物用途別火災発生状況 曜日・月別・四季別火災発生状況	29
□ 地区別火災発生状況全体図	30
□ 消防水利状況	31
□ 過去10年間の降雨量	31
□ 消防機械器具保有状況	32 ~ 33
□ 消防車両一覧表	34
□ 消防署出動状況	35
□ 小野市火災予防条例に関する届出状況	35

【救 急】

□ 平成26年救急概要	36
□ 救急出場件数	36
□ 搬送人員状況	37
□ 年齢・性別搬送人員比較	38
□ 救急所要時間状況	39
□ 事故種別でみる地域別 搬送先医療機関の搬送傷病者数	40
□ 急病件数比較	40
□ 急病件数に対する過去5年間の比較	40
□ 急病にかかる疾病分類別傷病程度	40
□ 応急処置・救命処置実施状況	41

【救 助】

□ 平成26年救助概要	42
-------------	----

【指 令】

□ 消防通信系統図	43
□ 平成26年中の119番受信状況	44
□ 119番による口頭指導実施状況	45
□ 情報テレホンサービス利用件数	45
□ 消防無線一覧	46
□ 気象状況	47

【消防団】

□ 消防団組織	48
□ 平成26年度消防団行事	49
□ 消防力の現況	49
□ 消防団員出動状況	50
□ 消防団員の在職年数状況	50
□ 年齢別消防団員数	51
□ 消防団員等公務災害発生状況	52
□ 消防団表彰状況	52
□ 消防自動車の現況	53
□ 小野市消防の沿革	54 ~ 58
□ 消防応援協定の締結状況	59

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、北緯34度50分の地点にあります。市の面積は93.84km²で、東西に11.8km、南北に11.2kmの広がりを持ち、東と北は加東市、西は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。

小野市内の大部分は平地で、西南端の一部に老年期初期の山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候であります。

年間降水量は、平均約1,200mmで全国的にみても少ない値となっています。

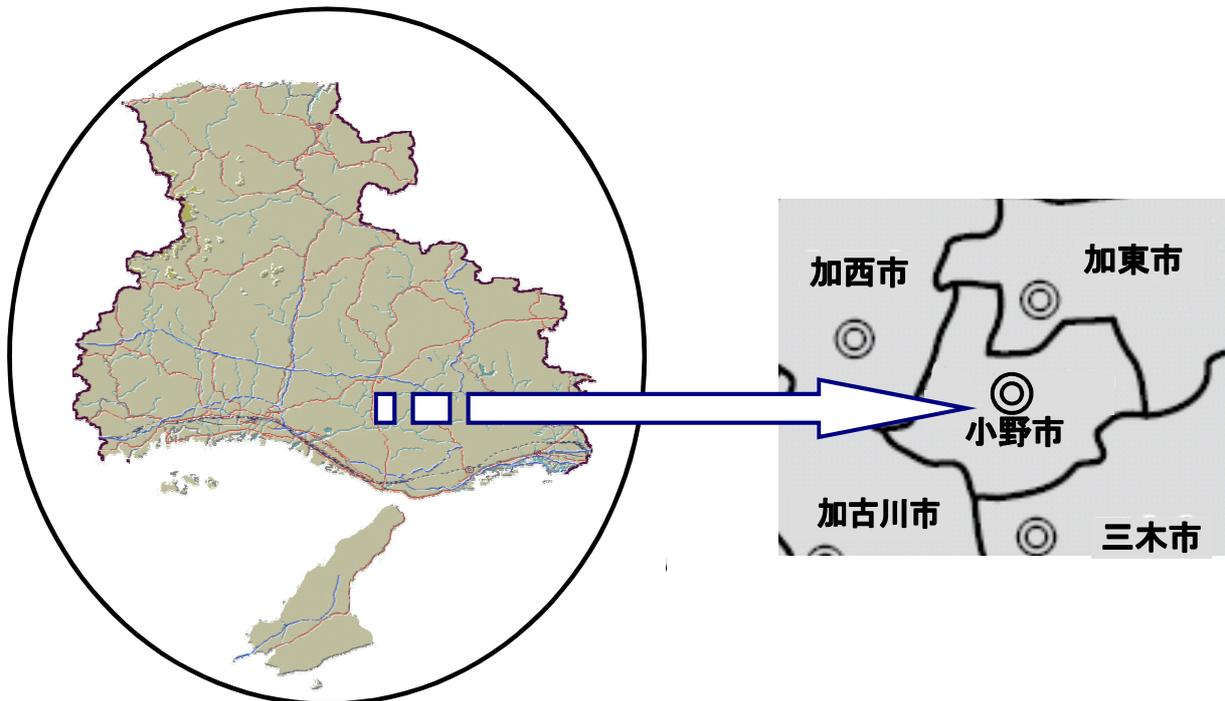
小野市は、古来から加古川中流域の文化の中心部として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。

この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街として小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

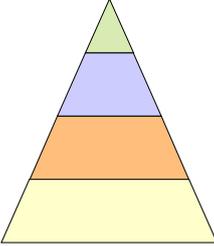
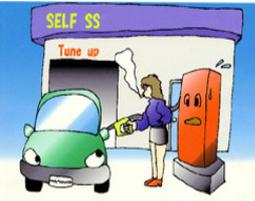
近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。

一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

昨年は、市制60周年を迎えた記念すべき年であり、災害対策の拠点となる「防災センター」の運用開始に加え、「市民交流ホール」「ホテルルートイン」もオープンし、新たな人の流れが生み出され、「都市としての機能」が整い、未来に向けた確かな一歩を踏み出しました。今後は、「熱意、誠意、創意工夫の創意」はあるかを真摯に問い、「住むなら！ やっぱりおの」が実感できるまちづくりの実現に向け、ゼロベースの発想で「新たな価値観の創造」へチャレンジを続けています。



一目統計

	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成27年度)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>								
面積 93.84 km ²	人口 49,495人 男性24,233人 女性25,262人	世帯数 19,249世帯	予算 19,270,000千円 【うち消防予算】 909,046千円	署所 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td>消防本部</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>消防署</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>分署</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>臨時北部救急隊派遣</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> </table>	消防本部	1	消防署	1	分署	1	臨時北部救急隊派遣	1
消防本部	1											
消防署	1											
分署	1											
臨時北部救急隊派遣	1											
 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成26年中)</p>	 <p>(平成26年中)</p>								
消防車両 消防車 12台 救急車 3台 その他の車両 1台	消防職員数 定員 69人 実員 65人 うち女性 2人	消防団員 定員 700人 実員 700人 うち女性 16人	火災 発生件数 22件 うち建物火災 12件 損害額 36,228千円	救急 発生件数 2,108件 搬送人員 1,982人 現場まで平均 7.4分								
 <p>(平成26年中)</p>	 <p>(平成26年中)</p>	 <p>(平成26年中)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>	 <p>(平成27年4月1日現在)</p>								
救助 発生件数 30件 活動件数 15件 救助人員 18人	その他の災害 発生件数 251件 検 索・危険火排除・危険物排除等	消防署への通報・問合せ 119番 2,660件 携帯119 1,224件 その他 4,173件	自主防災組織数 婦人防火クラブ 1 幼年消防クラブ 6 女性消防隊 3	危険物施設数 製造所 8 貯蔵所 179 取扱所 104								

管轄区域・消防機関配置図



消防庁舎の概要

庁舎名	所在地	開署年月日	構造	建築面積	延面積
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年 4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6㎡	3087.3㎡
小野市消防署 南分署	小野市池尻町 628番地の161	平成4年 4月1日	鉄筋コンクリート造 地上2階建	510.85㎡	696.35㎡

小野消防の現況

(平成27年4月1日現在)

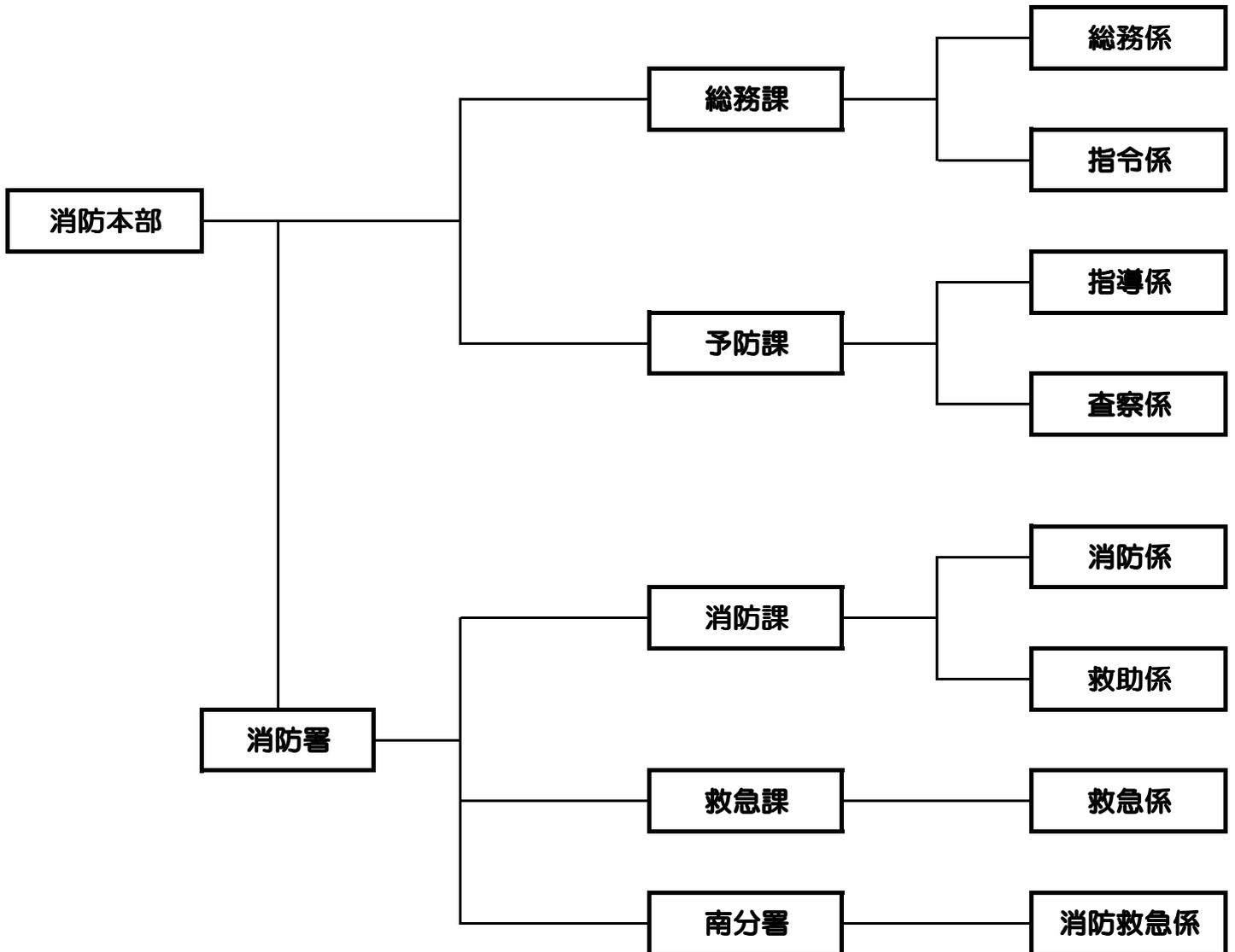
常備	署所	消防職員	消防ポンプ車等	屈折はしご車	救助工作車	高規格救急車
	2	65	5	1	1	3
非常備	団本部	分団数	消防団員数	消防自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
	1	6	700	5	49	54

小野市の平均

小野市の人口	49,495人	人口密度	527人/km ²
小野市の世帯数	19,249世帯	1世帯あたりの人口	2.57人
小野市の予算	19,270,000(千円)	市民1人あたり	389,332円
火災発生件数	22件	火災出場	16.6日に1件
救急発生件数	2,108件	救急出場1日あたり	5.8件
救急搬送人員	1,982人	救急車利用	25人に1人

小野市消防本部の組織

平成27年4月1日現在



小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 定 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
S 4 0	36,695	8,103	17	1,414	46	3,655		26	31	昭和40年4月
S 4 5	37,623	8,716	25	1,144	35	47,741		376	391	消防本部発足
S 5 0	40,576	9,815	31	1,060	25	5,647	1	730	680	
S 5 1	42,251	10,368	30	1,060	40	17,859		719	680	昭和41年12月
S 5 2	42,808	10,543	30	1,060	51	23,407		682	650	救急業務開始
S 5 3	43,232	10,735	32	1,060	68	40,558		713	700	
S 5 4	43,496	10,908	32	1,060	57	23,146		687	682	昭和46年6月
S 5 5	43,574	10,935	33	1,060	44	21,237		775	757	消防本部移転
S 5 6	44,408	11,560	34	1,060	56	37,550	1	738	719	
S 5 7	44,914	11,804	36	1,060	55	125,784		717	718	平成4年4月
S 5 8	45,258	11,950	36	1,060	64	47,872		819	804	南分署開設
S 5 9	45,546	12,108	38	1,044	51	17,571		814	808	
S 6 0	45,686	11,704	39	1,044	63	136,283	1	852	861	平成26年4月
S 6 1	45,963	12,377	39	1,044	64	72,307	6	863	870	防災センター開設
S 6 2	45,980	12,431	39	1,044	62	241,457	3	825	837	消防本部・消防署移転
S 6 3	46,098	12,570	41	1,044	48	64,978	1	865	873	市北部に救急隊派遣
H 1	46,197	12,672	42	1,044	35	20,680	1	916	963	
H 2	46,410	12,889	45	1,044	42	77,376	1	958	983	
H 3	46,726	13,182	49	1,044	44	34,744		1,008	1,048	
H 4	47,203	13,536	51	1,044	31	30,588		1,049	1,084	
H 5	47,687	13,895	54	1,044	35	42,928	1	1,008	1,017	
H 6	48,116	14,238	56	1,044	70	22,433		1,032	1,061	
H 7	48,742	14,649	57	1,044	70	141,904	1	1,191	1,254	
H 8	48,995	14,900	58	1,044	76	369,276	1	1,250	1,292	
H 9	49,376	15,200	59	1,044	42	51,163	1	1,283	1,335	
H 1 0	49,746	15,599	60	1,044	36	30,758		1,283	1,312	
H 1 1	50,213	15,954	60	874	42	62,609		1,225	1,240	
H 1 2	50,365	16,157	60	874	49	59,588	1	1,370	1,429	
H 1 3	50,441	16,339	60	874	54	76,348	1	1,364	1,435	
H 1 4	50,492	16,540	62	874	36	128,900	1	1,421	1,456	
H 1 5	50,583	16,811	60	874	22	2,297	1	1,453	1,486	
H 1 6	50,638	17,021	62	874	36	73,103	1	1,570	1,599	
H 1 7	50,633	17,279	62	874	40	30,707	3	1,702	1,696	
H 1 8	50,480	17,564	62	874	24	140,682	1	1,734	1,724	
H 1 9	50,474	17,786	63	874	34	30,747		1,725	1,705	
H 2 0	50,390	17,887	64	874	31	622,862	1	1,724	1,692	
H 2 1	50,540	18,460	64	874	21	19,579		1,754	1,678	
H 2 2	50,485	18,656	64	700	19	8,349		1,816	1,727	
H 2 3	50,364	18,823	64	700	29	129,487	1	1,834	1,742	
H 2 4	50,162	19,028	62	700	21	102,297		1,902	1,811	
H 2 5	49,903	19,151	64	700	18	6,291		1,919	1,834	
H 2 6	49,495	19,249	65	700	22	36,228	1	2,108	1,982	

※ 人口・世帯数は、3月31日現在

※ 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

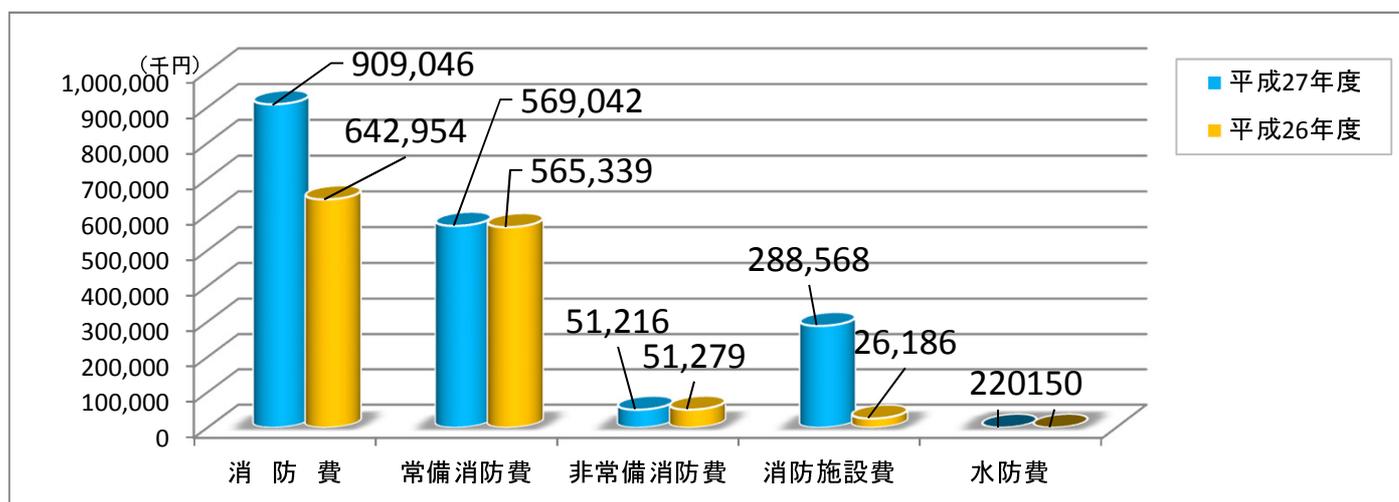
※ 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(単位:千円)

区分	年度別			
	平成26年度	平成27年度	前年度比較	増減率
一般会計	19,020,000	19,270,000	250,000	1.3%
消 防 費	642,954	909,046	266,092	41.4%
常備消防費	565,339	569,042	3,703	0.7%
非常備消防費	51,279	51,216	△ 63	-0.1%
消防施設費	26,186	288,568	262,382	1002.0%
水防費	150	220	70	46.7%
消防費比率	3.4%	4.7%	1.3%	



消防職員の表彰等状況

区分	年度別				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
消防庁長官表彰			1	1	1
全国消防長会(功労、永年勤続)	5	6	6	2	3
全国消防協会表彰(優良消防職員)					
県知事表彰(功労、永年勤続)	1	1	1	2	2
市長表彰(功労、永年勤続)		4		2	1
消防長表彰(功労、永年勤続)	1	3	4	4	2
署長表彰(功績)	2		1	5	3

消防職員年齢別状況

(平成27年4月1日現在)

年齢	階級	小計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	年齢合計
19歳		1						1	19
20歳		2						2	40
21歳		0							0
22歳		1						1	22
23歳		1						1	23
24歳		3						3	72
25歳		1						1	25
26歳		2					2		52
27歳		0							0
28歳		2				1	1		56
29歳		2				2			58
30歳		2				1		1	60
31歳		2				2			62
32歳		2				2			64
33歳		2				2			66
34歳		2				2			68
35歳		1				1			35
36歳		1				1			36
37歳		1				1			37
38歳		2				2			76
39歳		1				1			39
40歳		4				4			160
41歳		3			2	1			123
42歳		2			1	1			84
43歳		3			3				129
44歳		2			2				88
45歳		3			2	1			135
46歳		3			3				138
47歳		0							0
48歳		3			3				144
49歳		3		1	2				147
50歳		1			1				50
51歳		3		3					153
52歳		0							0
53歳		2		2					106
54歳		0							0
55歳		1		1					55
56歳		0							0
57歳		0							0
58歳		0							0
59歳		1	1						59
60歳		0							0
合計		65	1	7	19	25	3	10	2481
平均			59.0	51.9	45.3	35.5	26.7	23.1	38.2

消防職員の学校教育状況

種 別		年度別						現職員 累 計	
		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度		
消防 大学 校	総合教育	新任消防長科						0	
	専科教育	警 防 科						0	
		予 防 科						1	
		救 助 科						2	
		救 急 科						1	
		緊急消防援助隊教育科 航空隊コース						1	
兵庫 県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科						65	
	専科教育	災害現場指揮科						1	
		警防科(警防課程含む)						18	
		予防査察科(予防課程含む)						12	
		危険物科						9	
		火災調査科						13	
		救急科	救急科(標準課程含む)						27
			救急Ⅱ課程						30
		特殊災害科						7	
	救助科						24		
	幹部教育	初級幹部科						7	
		中級幹部科						4	
		上級幹部科						4	
	特別教育	はしご自動車科						11	
		潜水科						9	
		ポンプ操法講習会						39	
		惨事ストレス研修						8	
		山岳救助技術研修						10	
			救急救命士養成課程						9
	神戸 市 消 防 学 校	予防査察基礎課程						4	
予防課程						1			
救急Ⅱ課程						4			
救助課程						3			
警防課程						0			
警防小隊長課程						2			
警防指揮課程						3			
火災調査課程						6			
化学災害対応技術課程						1			
機械課程						7			
救急救命士養成課程						13			
		救急救命士東京研修所						3	
		救急救命士九州研修所追加講習						2	
		玉掛・クレーン技能講習						24	

消防職員の配置状況

(平成27年4月1日現在)

種別	階級	合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
条例定数		69	階級別定員なし					
職員数		65	1	7	19	25	3	10
消防本部	消防長	1	1					
	総務課	16		1	5	7		3
	予防課	11		1	3	3	2	2
消防署	消防課	15		3	3	4		5
	救急課	7		1	2	4		
	南分署	15		1	6	7	1	

消防力の現勢

(平成27年4月1日現在)

区分	基準	現有	過不足	充足率	
署所数	2	2	0	100%	
車	消防ポンプ自動車	2	2	0	100%
	化学消防自動車	1	1	0	100%
	高規格救急車	3	3	0	100%
	屈折はしご車	1	1	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮広報車	1	1	0	100%
	指令車	1	1	0	100%
両	小型動力ポンプ付積載車	—	1	—	—
	水槽兼薬液搬送車	—	1	—	—
	貨物車(資機材搬送車)	—	2	—	—
	軽四積載車	—	2	—	—
	非常用消防車	1	0	-1	0%
非常用救急車	1	0	-1	0%	
員	消防隊員	39	16	-23	41.0%
	救急隊員	18	18	0	100.0%
	救助隊員	15	4	-11	26.7%
	指揮隊員	9	2	-7	22.2%
	通信員	5	6	1	120.0%
	予防要員	9	11	2	122.2%
	庶務の処理等の要員	5	7	2	140.0%
その他派遣(県消防学校)	—	1	—	—	
合計	100	65	-35	65.0%	

消防職員の免許・資格所有状況

(平成27年4月1日現在)

階 級		消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
種 別								
自動車 運転 免許	大型特殊一種							0
	大型一種	1	6	17	24	2	1	51
	中型一種	1	7	19	26	1	1	55
	普通一種	1	7	19	26	3	8	64
	牽引一種							0
	自動二輪	1	2	5	13		4	25
危険物 取扱者	甲種							0
	乙種 1類		1	1	1			3
	乙種 2類			2	2			4
	乙種 3類		1	1	6	1	1	10
	乙種 4類	1	3	11	23	3	3	44
	乙種 5類			2	3	1		6
	乙種 6類			3	11	1		15
	丙種		5	12	3			20
消防設備士 乙種第6類			1	2	2	1		6
消防設備士 乙種第7類						1		1
予防技術資格者(防火査察)		1	3	2	3			9
予防技術資格者(消防用設備等)		1	3	1	1			6
予防技術資格者(危険物)		1	3	2	4			10
救急救命士		1	4	7	14	2		28
救急科					10	1	8	19
救急標準課程				1	7			8
救急Ⅱ課程		1	7	18	7			33
特殊無線従事者		1	7	5				13
第1級特殊無線技士				1				1
第2級特殊無線技士				13	26	3	8	50
アマチュア無線技士		1	3	2				6
小型船舶操縦士			2	5	1			8
小型移動式クレーン			3	14	6			23
玉掛技能			3	14	6			23
潜水士				4	17	1	2	24
車両系建設機械運転技能			1	1			1	3
ガス溶接			1	2	2			5
特定化学物質等作業主任者			1	5	2			8
2級ボイラー技士		1						1
防災士		1	1					2

平成26年度消防施設整備事業

整備事業名	場所	数量	備考
救助工作車整備事業	消防本部	1	救助工作車（Ⅱ型）
防災まちづくり事業 防火水槽40m ³ 級Ⅱ型	粟生町 下来住町	2	防災基盤整備事業
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	敷地町 古川町 中町	3	防災基盤整備事業
消防水利標識等設置事業	市内	49	消火栓・防火水槽路面表示
小型動力ポンプ積載車整備事業	葉多町 鹿野町	2	1/2補助事業

予 防

消防用設備等設置状況

(平成27年3月31日現在)

区分 用途別	消 火 設 備						警 報 設 備				避難設備		排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	消 防 用 水	非常電源		
	消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯					防 用 電	自 家 電 発	
1項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3	1			1	3			2		2					1	2	
	ロ 公会堂又は集会場	10	2				9			7		10						2	
2項	イ キャバレー、カフェー等	1								1		1							
	ロ 遊技場又はダンスホール	3					3			2		3							
	ハ 性風俗店等																		
	ニ カラオケボックス等	1					1					1							
3項	イ 待合、料理店等																		
	ロ 飲食店	32					8			20	2	31							
4項	百貨店、マーケット、店舗	77	8	1	1	1	34	1	18			66	1		1	1	6	6	
5項	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	7	2				6	1	3	1	1	7			1		1	2	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	291	3		1		42	14		37	33	4			3		3	3	
6項	イ 病院、診療所又は助産所	37	3	3	1	1	23	1	14	8	2	34			1	1	3	4	
	ロ 老人福祉施設等	15	5	13			15		10	6	2	15			1		11	12	
	ハ 老人デイサービスセンター等	34		3			22	1	4	1	3	20							
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	5	1				4			1		2					1	1	
7項	小、中、高校、大学、各種学校	50	26				43			31	4	13			2		26		
8項	図書館、博物館、美術館	3	2				2	1									2		
9項	イ 公衆蒸気浴場等																		
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1				1			1		1					1		
10項	停車場等																		
11項	神社、寺院、教会等	14					1			2		2							
12項	イ 工場又は作業場	616	115		8	28	241		3	10	1	65	1		3	12	81	5	
	ロ 映画スタジオ等																		
13項	イ 車庫又は駐車場	48			6		3												
	ロ 飛行機格納庫																		
14項	倉庫	445	44	1	3	10	124		1			43			1	2	33	1	
15項	その他の事業場	194	23		11	1	60			37	7	53		2			21	5	
16項	イ 複合用途(特定)	151	3	2			40	1	2	22	15	64	1		1		3	3	
	ロ 複合用途(非特定)	72	2	1		1	6			9	3	4			1	1	1	1	
16項の2	地下街																		
16項の3	準地下街																		
17項	重要文化財等の建築物	2					2												
18項	アーケード																		
合 計		2,112	241	24	31	43	0	693	19	38	216	73	441	3	2	15	17	194	47

防火対象物の状況

(平成27年3月31日現在)

区分 用途別		防火対象物の総数	防火管理者						消防用設備 点検対象物数	報告済対象物数	検査実施数	
			甲種			乙種					予 防 査 察	設 置 検 査
			要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 数	要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 済 数				
1項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3	2	2	2				3	3	3	
	ロ 公会堂又は集会場	10	8	8	8				10	9	10	
2項	イ キャバレー、カフェー等	1				1	1	1	1		1	
	ロ 遊技場又はダンスホール	3	3	2	2				3	1	3	1
	ハ 性風俗店等											
	ニ カラオケボックス等	1	1	1	1				1	1	1	
3項	イ 待合、料理店等											
	ロ 飲食店	32	7	6	6	24	18	13	32	11	30	
4項	百貨店、マーケット、店舗	77	24	24	23	18	13	10	77	32	55	6
5項	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	7	3	2	2				7	6	7	1
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	306	35	35	26				291	103	5	2
6項	イ 病院、診療所又は助産所	37	14	13	13	2	1	1	37	18	30	3
	ロ 老人短期入所施設等	15	11	10	10				15	12	15	3
	ハ 老人デイサービスセンター等	34	18	18	17	2	2	2	34	29	34	1
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5	5	
7項	小、中、高校、大学、各種学校	50	13	13	13	1	1	1	50	47	18	1
8項	図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	2	1	
9項	イ 公衆蒸気浴場等											
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1	1	1				1	1	1	
10項	停車場等											
11項	神社、寺院、教会等	14	2	2	2				14	1		
12項	イ 工場又は作業場	628	45	44	38				616	202	108	15
	ロ 映画スタジオ等											
13項	イ 車庫又は駐車場	48							48	21		
	ロ 飛行機格納庫											
14項	倉庫	452	6	6	5				445	116	8	6
15項	その他の事業場	195	33	29	29	3	2	2	194	76	35	7
16項	イ 複合用途(特定)	151	35	28	25	15	14	11	151	22	88	4
	ロ 複合用途(非特定)	72	5	5	4	4	1	1	72	4		1
16項の2	地下街											
16項の3	準地下街											
17項	重要文化財等の建築物	2	1	1					2	2		
18項	アーケード											
合計		2,147	272	255	232	70	53	42	2,112	724	458	51

月別・地区別建築同意状況

(平成26年度)

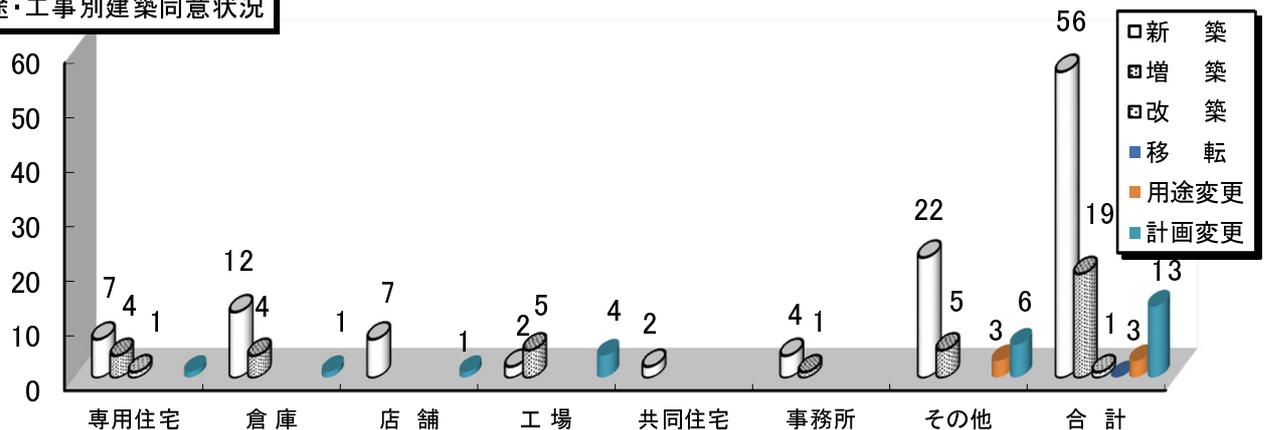
月別 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
4月	5		1	4	4	2	16
5月	3		1		3		7
6月	3	2		1	3		9
7月	1			3	2	2	8
8月				2	2		4
9月	2				2	1	5
10月	2	1		3	3		9
11月	1	1	1	1	1	2	7
12月	3			1	2	2	8
1月	2				3		5
2月	1	1		3	1	2	8
3月	2	2		1	1		6
合計	25	7	3	19	27	11	92

用途・工事別建築同意状況

(平成26年度)

工事別 \ 用途別	専用住宅	倉庫	店舗	工場	共同住宅	事務所	その他	合計
新築	7	12	7	2	2	4	22	56
増築	4	4		5		1	5	19
改築	1							1
移転								0
用途変更							3	3
計画変更	1	1	1	4			6	13
合計	13	17	8	11	2	5	36	92

用途・工事別建築同意状況



各種届出指示状況

(平成26年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任（解任）届	83	1,202
消防計画作成（変更）届	117	
消防訓練計画届	261	
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	150	
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	115	
防火対象物使用開始届	50	
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	392	
発電・変電・蓄電池設備届	34	
指示書による指示件数		44
甲種防火管理新規講習課程修了証		46
乙種防火管理講習課程修了証		4
甲種防火管理再講習課程修了証		0

一般家庭・高齢者（独居）家庭の防火診断実施状況

(平成27年3月31日現在)

区 分	地区別							合計
	小野	河合	来住	市場	大部	下東条		
一般家庭実施件数								0
累 計	545	734	226	669	237	343		2,754
高齢者（独居）家庭実施件数	36							36
累 計	294	237	164	164	165	219		1,243
総診断数	839	971	390	833	402	562		3,997

中高層建築物等状況

(平成27年3月31日現在)

階 数	地 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8階	9階	10階	合計
棟 数	44	217	54	40	3	4	0	2	1	365

危険物施設状況

(平成27年3月31日現在)

指定数量別 製造所等の区分		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超える	計
製造所			3	1	3			1		8
貯蔵所	屋内貯蔵所	22	9	14	3	6		2	3	59
	屋外タンク貯蔵所	8	6	21	4			2		41
	屋内タンク貯蔵所	1	1							2
	地下タンク貯蔵所	20	12	11	1					44
	簡易タンク貯蔵所									0
	移動タンク貯蔵所	17	1	3	3					24
	屋外貯蔵所	2	3	4						9
取扱所	給油取扱所	9	4	14	3	3	3	7		43
	第1種販売取扱所									0
	第2種販売取扱所									0
	移送取扱所									0
	一般取扱所	34	15	10	1			1		61
計		113	54	78	18	9	3	13	3	291

許可・完成検査・承認数状況

(平成26年度)

許可等の区分 製造所等の区分		許可		完成検査		タンク検査	廃止及び転出
		設置	変更	設置	変更		
製造所		1	4	1	6	9	
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	1	3	1		
	屋外タンク貯蔵所	1	1		1	1	1
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所	1					3
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		2		2		2
	屋外貯蔵所				1		
取扱所	給油取扱所		8		7		1
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	移送取扱所						
	一般取扱所	1	20		18		3
計		7	36	4	36	10	10

仮使用承認数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合計
30	1	31

危険物規制事務処理状況

(平成26年度)

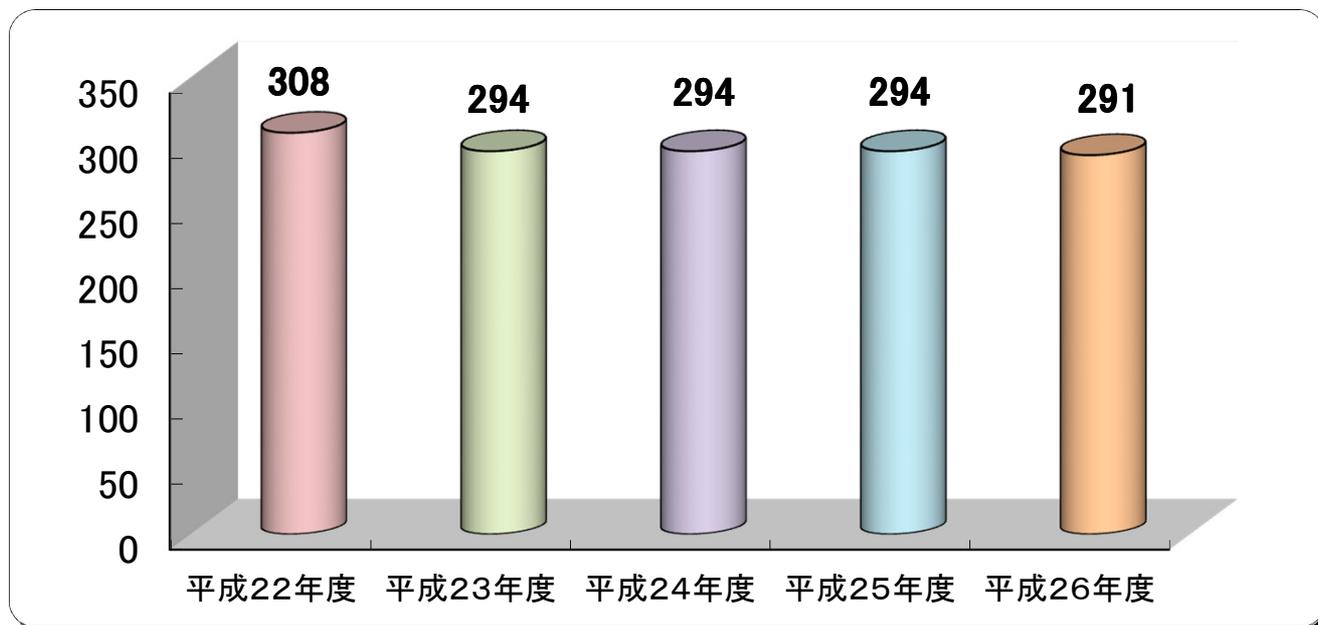
申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	10
危険物製造所等軽微変更届	82
危険物製造所等譲渡引渡届	2
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	6
危険物製造所等廃止届	8
危険物製造所等休止届	0
危険物製造所等危険作業届	6
危険物製造所等定期点検結果報告	136
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任届	31
危険物取扱作業従事者届	120
危険物製造所等消防設備関係届	17
少量危険物貯蔵取扱い届	10
少量危険物廃止届	2
指定可燃物貯蔵取扱い届	6
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	14
炉・かまど・ボイラー等設置届	19
改善計画書	15
L P G 設備工事届	4
その他	25
合 計	513

危険物施設立入検査状況

(平成26年度)

製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	貯屋 蔵 所内	屋 貯外 蔵タ 所 ク	屋 貯内 蔵タ 所 ク	地 貯下 蔵タ 所 ク	簡 貯易 蔵タ 所 ク	移 貯動 蔵タ 所 ク	屋 貯外 蔵所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
1	0	0	0	4	0	22	2	28	15	8	23	52

過去5年間の危険物施設数（完成検査済）状況



年度別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
件数	308	294	294	294	291

手数料収入額状況

(平成26年度)

(単位：千円)

許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査 手数料		仮使用 手数料	仮貯蔵 仮取扱 手数料	合計
設置	変更		水張	圧力			
235	759	467	71	0	162	54	1,748

県委譲事務処理状況

(平成26年度)

液化石油ガス関係		高圧ガス関係		火薬類関係	
設備工事届	立入検査	立入検査	行政措置	立入検査	行政措置
4	4	0	0	0	0

防火防災組織の状況

(平成27年4月1日現在)

団体名	人員	結成年月日	活動状況	
小野市幼年婦人防火委員会 (会長 長谷川 勝也)	6	昭和60年4月1日	・防火防災組織の育成指導	
婦人防火クラブ 小野市婦人防火クラブ		昭和60年4月1日	・防火街頭宣伝活動 ・家庭防火診断の推進 ・その他の防火広報活動	
幼年消防クラブ	北辰保育園幼年消防クラブ	118	昭和60年7月1日	・避難訓練の実施 ・防火教室の開催 ・防火絵画展開催 ・消防大会への参加
	来住保育所幼年消防クラブ	184	昭和60年12月1日	
	小野保育所幼年消防クラブ	246	昭和61年2月1日	
	下東条西保育所幼年消防クラブ	127	昭和62年11月1日	
	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	107	昭和63年7月1日	
	粟生保育所幼年消防クラブ	87	平成10年2月28日	
女性消防隊	育ヶ丘女性消防隊 (隊長 岡田 郁未)	15	昭和54年4月1日	・消防機器の点検・訓練 ・防火広報活動の実施
	高山町女性消防隊 (隊長 松井 康子)	5	昭和60年4月1日	・初期消火活動 ・防火・救急教室の開催
	小野ニュータウン女性消防隊 (隊長 藤原 宏美)	15	平成4年9月1日	・自衛消防競技会への参加 ・消防大会への参加
その他	小野市防火協会 (会長 伊藤 俊博)	249	昭和48年4月1日	・防火広報誌の発行 ・各種防火広報活動 ・各種防火研修会の開催
	小野匠工業会防災連絡委員会 (委員長 宮岡 祐士)	30	平成6年4月1日	・消火、防火訓練の実施 ・防火、救急講習会の実施 ・防火広報活動の実施 ・自衛消防競技会への参加

消 防



平成26年 火災概要



《火災概要》

1 火災件数と火災種別

平成26年中の火災件数は22件で、消防本部発足以来、最少件数であった平成25年の18件よりも4件の増加となった。

火災種別ごとにみると、もっとも多く発生しているのが、建物火災の12件(約55%)で、次にその他火災の5件(約23%)、続いて車両火災の4件(約18%)、林野火災の1件(約4%)となっている。

2 火災程度

建物火災を火災程度別にみると、全焼が1件(約8%)、半焼が2件(約17%)、部分焼が5件(約42%)、ぼやが4件(約33%)となっている。

3 出火原因

出火原因でみると、「放火・電気配線」による火災が各4件発生しており、他には、「その他焼却中」が3件、「畦焼き、タバコ、ローソク、ガスコンロ」が各1件発生し、「その他」4件、「不明」が3件であった。

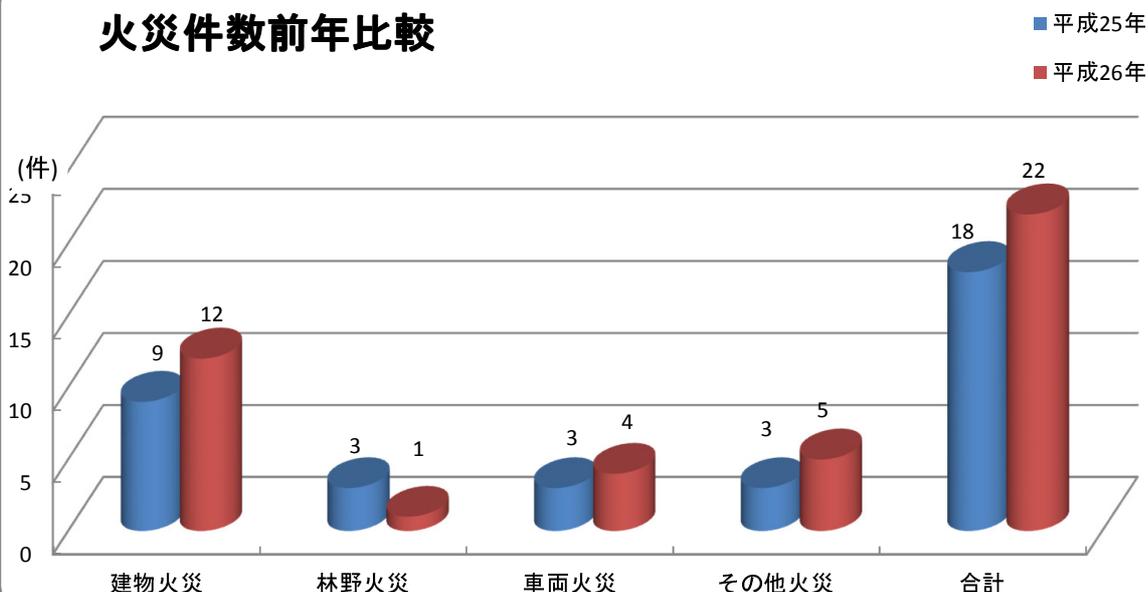
4 火災による死傷者

平成26年中の火災による死傷者数は、死者が2名(昨年0名)発生し、負傷者は1名(昨年1名)発生した。

5 焼損面積

焼損面積については、建物焼損床面積が357㎡(昨年35㎡)、建物焼損表面積が24㎡(昨年43㎡)で、焼損面積の合計は381㎡(昨年78㎡)となっている。

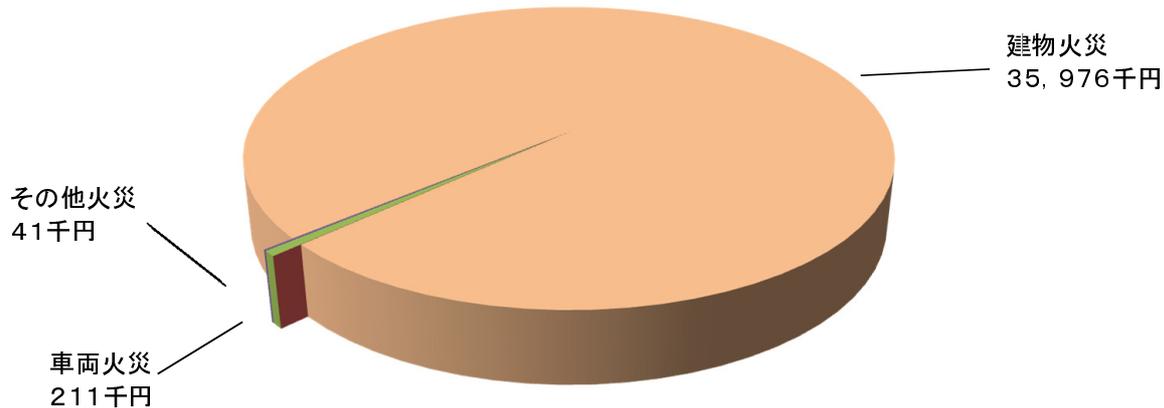
火災件数前年比較



火災損害状況

平成26年中の火災総損害額は36,228千円で、昨年(6,291千円)に比べ29,937千円増加している。

火災種別で見ると、建物火災が35,976千円、車両火災が211千円、その他火災が41千円となっている。

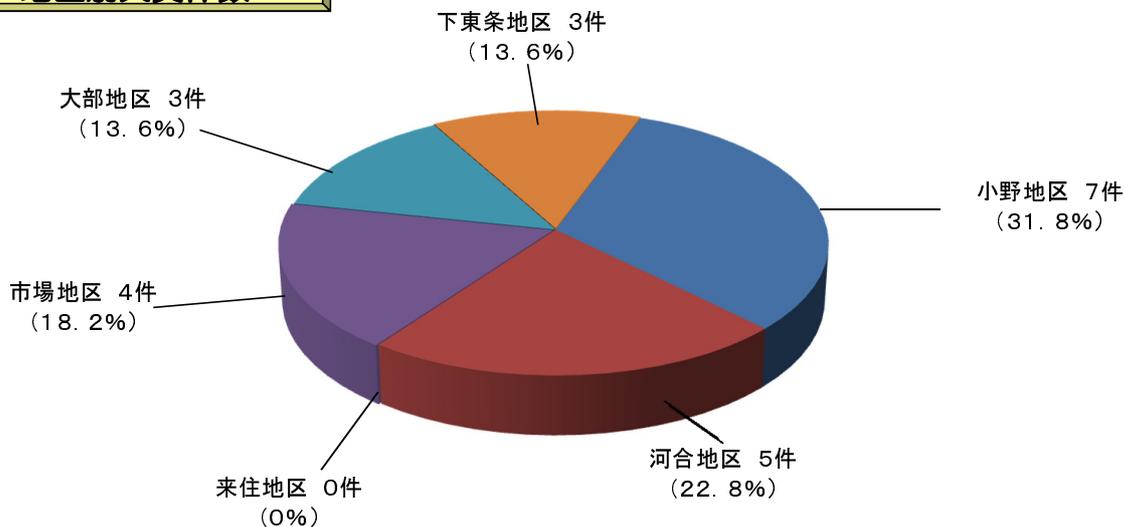


地区別火災概要

火災件数を地区別で見ると、小野地区が7件、次いで河合地区が5件、市場地区が4件、大部・下東条地区が各3件発生し、来住地区は火災は発生していない。

火災種別で見ると、建物火災は小野地区で4件、下東条地区で3件、河合・市場地区で各2件、大部地区で1件の発生となっている。

地区別火災件数



過去10年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(件)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成16年	16	4	0	16	36
平成17年	20	3	1	16	40
平成18年	11	2	3	8	24
平成19年	18	4	3	9	34
平成20年	18	4	3	6	31
平成21年	11	3	1	6	21
平成22年	9	0	2	8	19
平成23年	9	6	0	14	29
平成24年	11	3	0	7	21
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22

火災種別損害額の推移

(千円)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成16年	72,836	0	0	267	73,103
平成17年	30,061	0	10	636	30,707
平成18年	138,788	0	1,777	117	140,682
平成19年	29,721	0	977	49	30,747
平成20年	621,464	0	1,397	1	622,862
平成21年	18,579	0	1,000	0	19,579
平成22年	8,087	0	209	53	8,349
平成23年	126,951	29	0	2,507	129,487
平成24年	102,296	0	0	1	102,297
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228

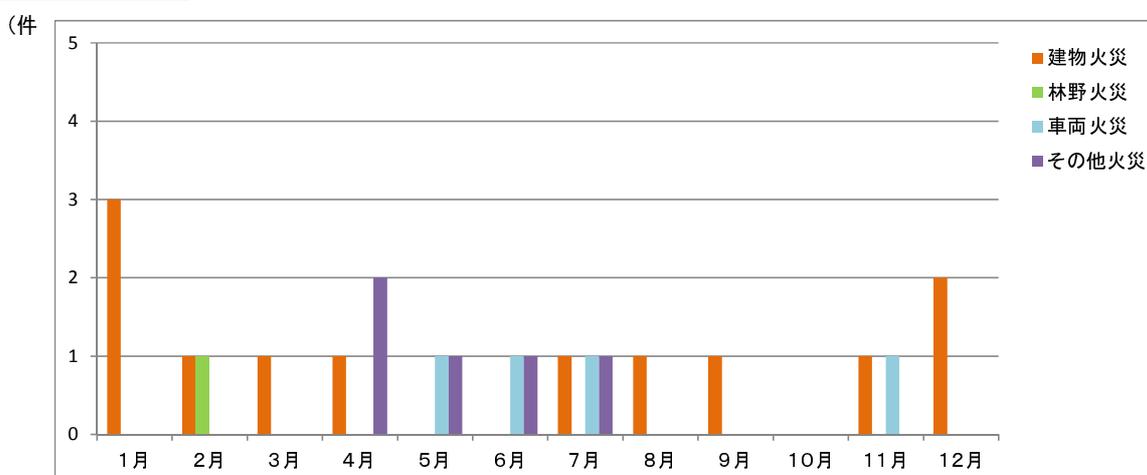
火災状況前年比較

区分		年別	平成26年			平成25年			前年比較		
			本署	南分署	合計	本署	南分署	合計	本署	南分署	合計
火災件数 (件)	合計	14	8	22	10	8	18	4	0	4	
	建物火災	7	5	12	6	3	9	1	2	3	
	林野火災	1	0	1	2	1	3	-1	-1	-2	
	車両火災	2	2	4	1	2	3	1	0	1	
	その他火災	4	1	5	1	2	3	3	-1	2	
損害額 (千円)	合計	11,443	24,785	36,228	2,533	3,758	6,291	8,910	21,027	29,937	
	建物火災	11,358	24,618	35,976	2,233	3,555	5,788	9,125	21,063	30,188	
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両火災	44	167	211	300	203	503	-256	-36	-292	
	その他火災	41	0	41	0	0	0	41	0	41	
焼損面積	建物	合計	105	276	381	30	48	78	75	228	303
		焼損床面積(m ²)	89	268	357	14	21	35	75	247	322
		焼損表面積(m ²)	16	8	24	16	27	43	0	-19	-19
	林野(a)	2	0	2	28	4	32	-26	-4	-30	
焼損棟数(棟)		7	5	12	3	4	7	4	1	5	
罹災世帯数(世帯)		4	3	7	4	1	5	0	2	2	
罹災人員(人)		16	9	25	10	2	12	6	7	13	
焼損車両数(台)		2	2	4	1	2	3	1	0	1	
負傷者(人)		1	0	1	1	0	1	0	0	0	
死者(人)		0	2	2	0	0	0	0	2	2	
出動人員 (人)	消防職員	142	109	251	93	64	157	49	45	94	
	消防団員	71	46	117	27	39	66	44	7	51	
	合計	213	155	368	120	103	223	93	52	145	

月別火災発生状況

区分		年 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災 件数 (件)	合 計	3	2	1	3	2	2	3	1	1	0	2	2	22
	建物火災	3	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	2	12
	林野火災	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	車両火災	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	4
	その他火災	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	5
損 害 額 (千円)	合 計	45	467	2	708	38	6	202	10,691	456	0	10,154	13,459	36,228
	建物火災	45	467	2	667	0	0	162	10,691	456	0	10,027	13,459	35,976
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災	0	0	0	0	38	6	40	0	0	0	127	0	211
	その他火災	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	41
焼 損 面 積	建 建物焼損合計	8	2	1	18	0	0	16	150	2	0	68	116	381
	焼損床面積(m ²)	1	2	0	18	0	0	0	150	2	0	68	116	357
	焼損表面積(m ²)	7	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	24
	林 野 (a)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
焼損棟数(棟)		3	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	2	12
罹災世帯数(世帯)		1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	7
罹災人員(人)		3	1	6	0	0	0	0	0	3	0	4	8	25
焼損車両数(台)		0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	4
負傷者(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
死者(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
出 動 人 員	消防職員(人)	19	33	15	43	22	9	40	15	4	0	24	27	251
	消防団員(人)	4	7	0	10	5	2	16	4	2	0	35	32	117
	合 計(人)	23	40	15	53	27	11	56	19	6	0	59	59	368

月別火災発生状況



時間別火災発生状況

(件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
	建物	林野	車両	その他													
0時～1時																	0
1時～2時																	0
2時～3時																	0
3時～4時																	0
4時～5時																	0
5時～6時																	0
6時～7時									1					1			1
7時～8時																	0
8時～9時							1									1	1
9時～10時	1													1			1
10時～11時		1													1		1
11時～12時												1		1			1
12時～13時																	0
13時～14時						1										1	1
14時～15時					1			1						1		1	2
15時～16時	1			1	1									1		2	3
16時～17時			1	1			1					1		2		1	4
17時～18時							1					1		1		1	2
18時～19時												1		1			1
19時～20時				1										1			1
20時～21時																	0
21時～22時																	0
22時～23時	1	1												2			2
23時～24時																	0
不明							1									1	1
合計	3	2	1	3	2	2	3	1	1	0	2	2	12	1	4	5	22

曜日別火災発生状況

(件)

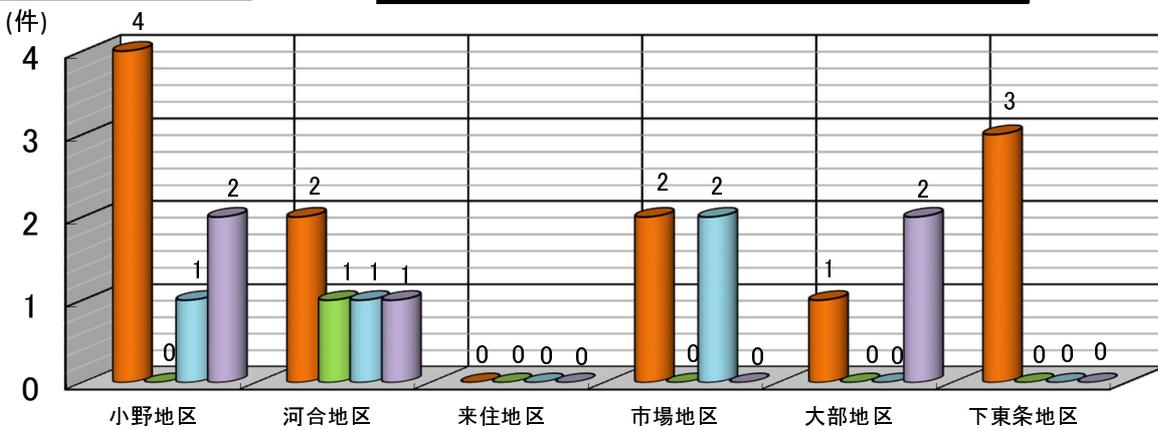
月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計	
	建物	林野	車両	その他														
日曜日					1	1						1				1	2	3
月曜日	1	1	1											3				3
火曜日		1		2										1	1		1	3
水曜日	1						1	1				1		4				4
木曜日							1		1					1		1		2
金曜日	1				1		1					1		2		1	1	4
土曜日				1								1		1			1	2
不明							1									1		1
合計	3	2	1	3	2	2	3	1	1	0	2	2	12	1	4	5	22	

地区別火災発生状況

種別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合計
建物火災(件)	4	2	0	2	1	3	12
損害額(千円)	496	10,189	0	24,122	28	1,141	35,976
林野火災(件)	0	1	0	0	0	0	1
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
車両火災(件)	1	1	0	2	0	0	4
損害額(千円)	6	38	0	167	0	0	211
その他火災(件)	2	1	0	0	2	0	5
損害額(千円)	0	41	0	0	0	0	41
火災件数合計(件)	7	5	0	4	3	3	22
損害額合計(千円)	502	10,268	0	24,289	28	1,141	36,228

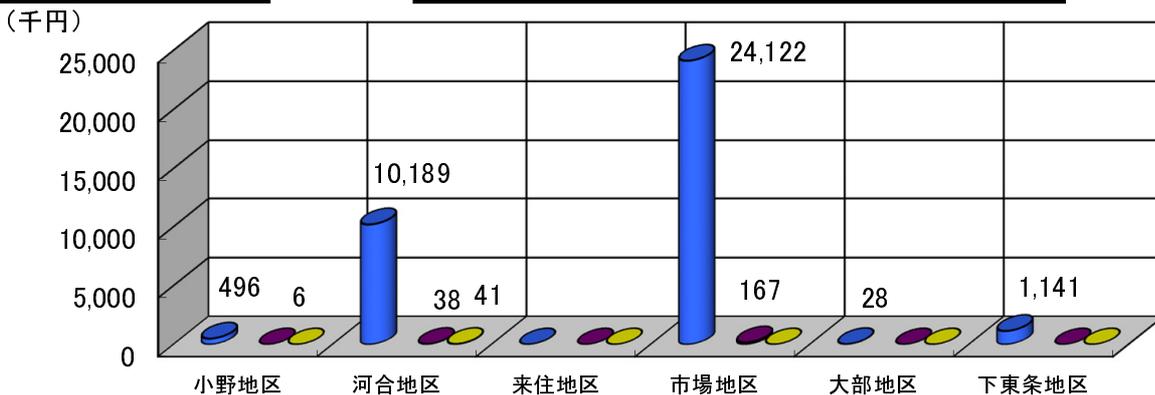
地区別火災発生状況

■建物火災 ■林野火災 ■車両火災 ■その他火災



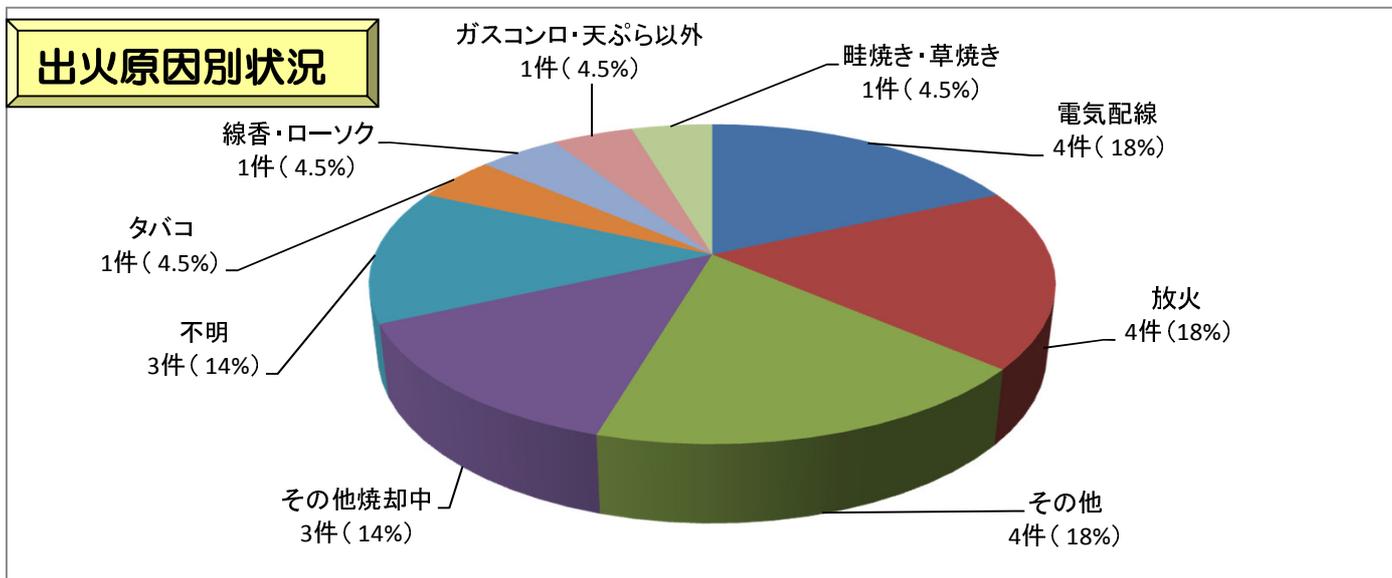
地区別火災損害額状況

■建物火災 ■林野火災 ■車両火災 ■その他火災



出火原因別状況

原因	火災件数表(件)					損害額 (千円)	焼損面積			負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物床 面積 (㎡)	建物表 面積 (㎡)	林野(a)		
畦焼き・草焼き	1				1						
その他焼却中	3		1		2	41			2		
煙火	0										
タバコ	1	1					1				
マッチ・ライター	0										
線香・ローソク	1	1				456	2				
焚火	0										
その他裸火	0										
ガスコンロ天ぷら以外	1	1				28				1	
ストーブ	0										
炉・かまど	0										
風呂の空だき	0										
電気配線	4	4				11,522	168	17			
電気器具	0										
溶接等の火花	0										
煙突	0										
摩擦	0										
その他高温の固体	0										
自然発火・化学反応	0										
火遊び	0										
放火	4	1		2	1	13,564	116				2
放火の疑い	0										
火工品(発煙筒)	0										
天災(落雷)	0										
不明	3	2			1	10,054	68	7			
その他	4	2		2		563	2				
合計	22	12	1	4	5	36,228	357	24	2	1	2

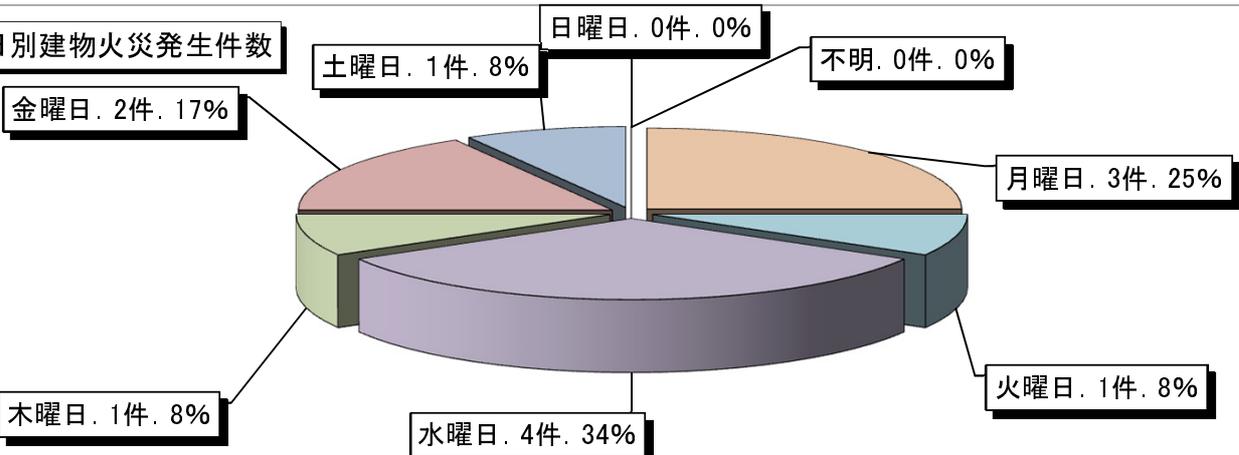


建物用途別火災発生状況

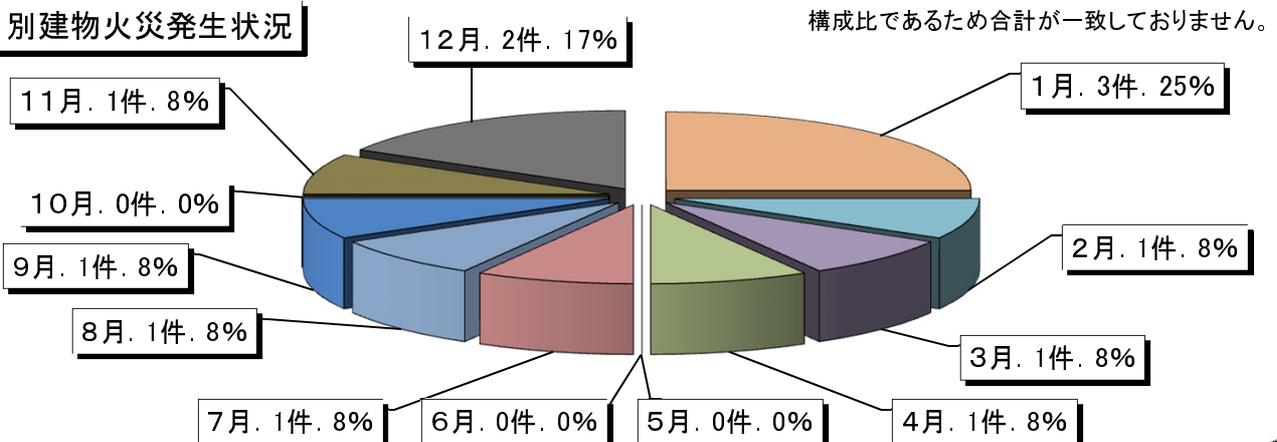
用途別	専用住宅	工場 作業場	共同住宅	倉庫・物置	その他	合計
発生件数 (件)	5	2	1	2	2	12
火災損害額 (千円)	23,944	11,358	0	189	485	35,976
焼損面積	床面積(m ²)	186	168	1	0	357
	表面積(m ²)	1	0	0	23	24

その他

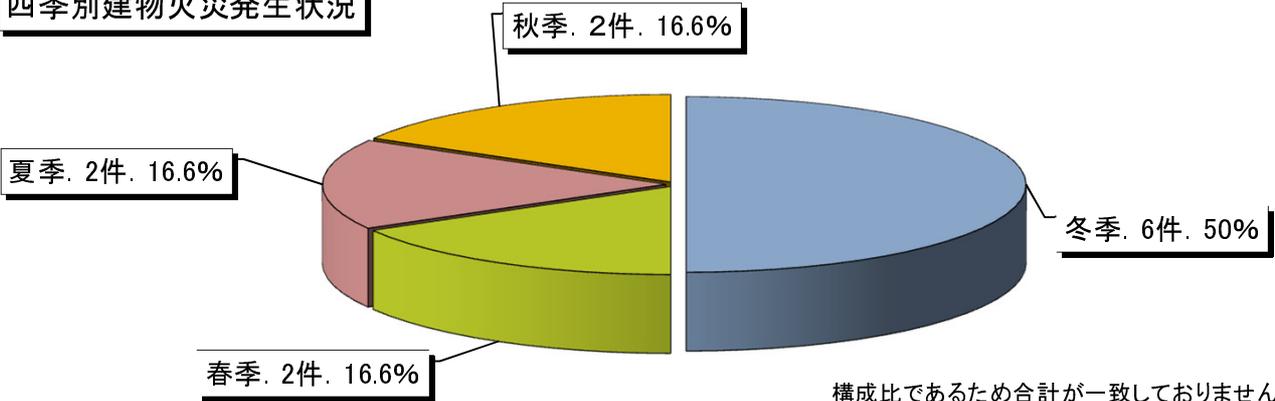
曜日別建物火災発生件数



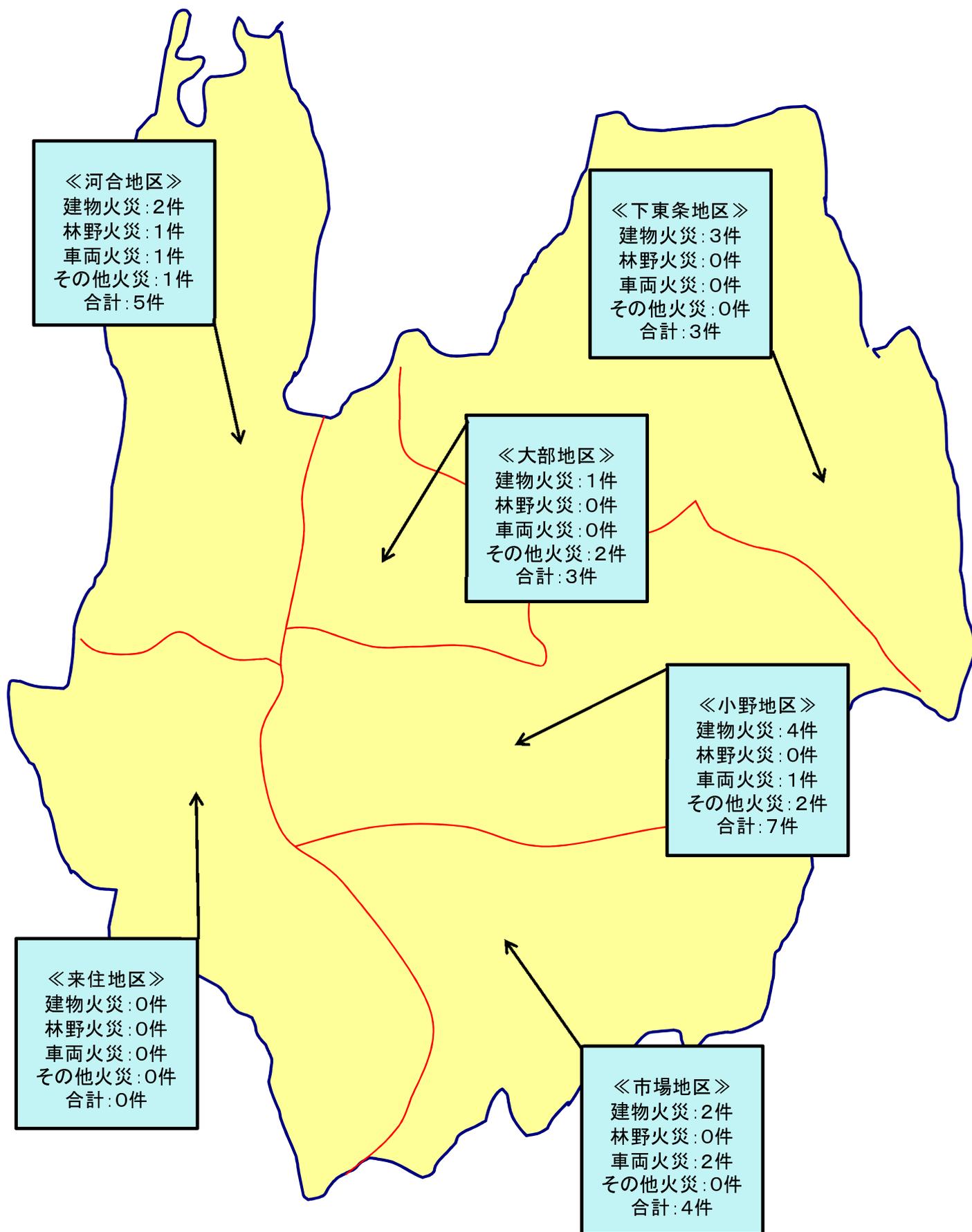
月別建物火災発生状況



四季別建物火災発生状況



地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

(平成27年3月31日現在)

防火水槽			消火栓			合計			充足率
基準	現有	不足	基準	現有	不足	基準	現有	不足	
537	476	61	1,499	1,321	178	2,036	1,797	239	88.3%

過去10年間の降雨量

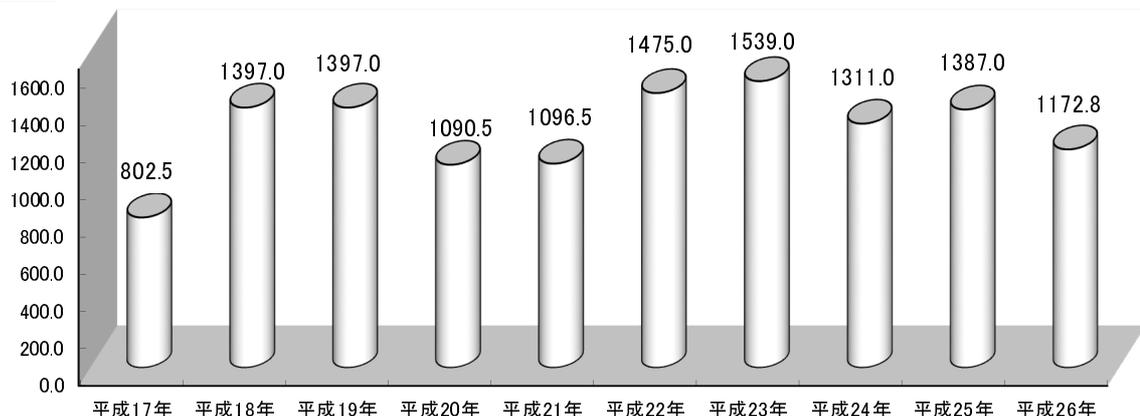
(単位:mm)

年別	月別												合計	年間平均
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平成17年	14.0	64.5	81.5	38.5	58.5	57.0	188.5	85.0	42.0	103.0	59.0	11.0	802.5	66.9
平成18年	36.0	81.5	112.0	112.0	132.5	156.5	305.0	71.0	137.5	94.5	89.0	69.5	1,397.0	116.4
平成19年	13.5	50.0	91.0	23.5	126.0	136.5	226.0	65.5	59.0	105.0	16.0	72.0	1,397.0	116.4
平成20年	57.5	39.5	98.0	137.0	153.5	100.5	77.0	111.5	151.5	87.5	48.5	28.5	1,090.5	90.9
平成21年	33.0	132.5	112.0	66.5	51.0	77.0	183.5	140.5	54.0	84.5	144.5	47.5	1,096.5	91.4
平成22年	24.0	113.0	149.0	210.0	172.0	270.5	156.5	34.5	126.5	143.0	11.0	65.0	1,475.0	122.9
平成23年	3.5	67.5	24.5	89.0	309.0	99.0	110.0	55.5	500.5	183.0	86.5	11.0	1,539.0	128.3
平成24年	27.0	80.5	141.5	118.0	37.5	229.5	216.0	53.0	145.0	77.0	91.5	94.5	1,311.0	109.3
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7

は各年の最高降雨月を示す。

は各年の最少降雨月を示す。

年間降雨量比較



単位:mm

消防機械器具保有状況

(平成27年3月31日現在)

No. 1

品名		区分	平成26年	平成25年	本署	南分署	備考	
放水器具	小型動力ポンプ	B-3級	1	1	1	0		
		B-2級	1	1	1	0		
		C-1級	2	2	1	1		
	高圧ポンプ			1	1	0	1	
	ジェットシューター			30	32	17	13	
	放水砲			2	1	1	1	
	高発泡装置（排煙型）			1	1	0	1	
	高発泡器一式			3	3	1	2	
照明器具	信号器付投光器		1	1	1	0		
	水中投光器		19	11	13	6		
	発電機		7	6	5	2		
	投光器（三脚付）		12	12	10	2		
作業機械器具	コンプレッサー		2	2	1	1		
	充電器		2	2	1	1		
	溶接機		2	1	1	1	(アーク)	
	ガス切断器		2	1	1	1		
	緊急用防災工具		2	2	2	0		
	ガレージジャッキ		2	2	1	1		
	携帯無線機		17	17	12	5		
一般救助器具	かぎ付はしご		5	5	4	1		
	三連はしご		5	5	3	2		
	ワイヤーはしご		2	1	2	0		
	空気式救助マット		1	1	1	0		
	救助用縛帯		3	3	2	1		
	サバイバースリング		2	1	2	0		
	バスケット担架		4	2	3	1		
	マンホール救助器具		1	1	1	0		
重量物排除器具	可搬式ウインチ		3	3	3	0	(チルホール)	
	ポートパワー		2	2	1	1		
	プランジャーラム		2	1	1	1		
	マット型ジャッキ式		3	2	2	1		
	油圧スプレッター		3	2	2	1		
	エンジンポンプ		3	2	1	2		
	ホースリール		2	1	1	1		
切断器具	エンジンカッター		4	3	3	1		
	アークエアー		2	1	1	1		
	チェーンソー		4	4	2	2		
	油圧カッター		3	2	1	2		
	ペダルカッター		2	1	1	1		
	空気鋸		1	1	1	0		

品名		区分		本署	南分署	備考
		平成26年	平成25年			
破壊器具	削岩機	2	1	2	0	
	ハンマードリル	2	1	2	0	
	電動ハンマー	1	1	1	0	
	万能斧	22	13	15	7	(トップマンとび)
	鉄ハンマー	5	5	4	1	
	ウインドポンチ	4	4	3	1	
	ストライカー	3	2	2	1	(携帯用破砕器具)
測定器具	可燃性ガス測定器	3	2	2	1	
	有毒ガス測定器	3	1	3	0	(ケミデック)
	放射能測定器	2	1	2	0	(レムガード)
	放射線量計	12	7	12	0	
	検電器	4	2	4	0	
保安器具	空気呼吸器	30	25	22	8	
	酸素呼吸器(循環式)	15	10	10	5	(川崎10号型)
	防塵マスク	5	9	5	0	
	防毒マスク	18	18	12	6	内3M製7
	送排風機	3	1	3	0	
	耐電衣	6	4	6	0	(ズボン・長靴含む)
	耐電手袋	17	12	14	3	
	防護めがね	14	14	4	10	
	コンパクトヘッドライト	14	14	8	6	ペツル製
	携帯警報器	5	5	5	0	(レスキューコール)
	活線接近警報器	3	3	3	0	
	防毒服	5	5	0	5	
	化学防護服	5	5	5	0	
	耐熱服	9	9	4	5	
	放射能防護服	2	2	2	0	
	エアバックカバー	4	4	3	1	
	その他の器具	救助はさみ	4	4	3	1
ファイバースコープ		2	1	2	0	
赤外線カメラ		2	1	2	0	
救命索発射銃		3	2	2	1	
携帯拡声器		11	9	7	4	
救命用ボート		4	3	2	2	
船外機		3	2	2	1	
救命胴衣		98	98	64	34	
救命浮輪		6	6	3	3	
カラー探知機		1	1	1	0	(水難検索用)
オイルフェンス		5	5	3	2	本署(10m 1、20m 2)
油吸着マット		622	622	317	305	
止水袋	240	240	240	0		

消防車両一覧表

(平成27年3月31日現在)

種 別	車 名	型 式	年式	排気量 (ℓ)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日	
消 防 本 部 (消 防 署)	化学車 (Ⅱ型)	日野	KC-GD1JGBA改	H10	7.96	215	9,610	A-1級	おのしょう1	平成10年3月
	タンク車 (水Ⅰ-A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A-2級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう2	平成20年2月
	ポンプ 積載車	日産	PKG5F24-020230	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B-2級積載	おのしょう3	平成23年9月
	屈折はしご付 消防自動車	日野	KL-FG1JKDA改	H13	7.96	220	13,520	小型ポンプ B-3級積載	おのしょう4	平成13年9月
	救助工作車	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,230		おのしょう5	平成27年2月
	指令車	三菱	E-EA1A	H9	1.83	150	1,635		おのしょう20	平成9年7月
	資機材搬送車	いすゞ	PB-NPS81AR	H16	4.70	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
	指揮広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		おのしょう22	平成10年7月
	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年5月
	軽四資機材 積載車	三菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年6月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H19	2.69	151	3,235		おのしょう きゅうきゅう1	平成19年2月
高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう きゅうきゅう2	平成22年2月	
南 分 署	タンク車 (水Ⅱ型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A-1級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう30	平成17年2月
	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
	水槽車	日野	U-FS1VKBD改	H5	21.54	410	19,995	小型ポンプ B-2級固定	おのしょう31	平成5年2月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう きゅうきゅう3	平成24年3月

消防署出動状況

平成26年中

出動種別 区分	火災	救急業務	救助業務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他	うちたずら等の誤報・誤認	合計
	出動回数	22	2,108	30	12	5	181	158	21	11	123	
前年回数	18	1,919	26	28	6	247	203	35	1	140	3	2,623
出動延人員	251	6,490	283	36	143	315	270	147	55	254	14	8,258
前年延人員	157	5,965	214	84	83	439	483	85	1	462	38	7,973

火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届け出状況

平成26年中

① 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する恐れのある行為

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	50	9	5	3	7	3	7	6	3	5	10	9	117

② 煙火（がん具用煙火を除く）の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	1	0	7

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障をおよぼす恐れのある道路工事

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	13	0	8	3	1	9	9	12	8	6	7	8	84

救 急

平成26年 救急概要

平成26年中の救急出場件数と搬送人員は、消防本部発足以来過去最多を記録し、救急出場2,108件、搬送人員1,982人となり、昨年と比較すると、件数では189件増加、搬送人員では148人増加しています。

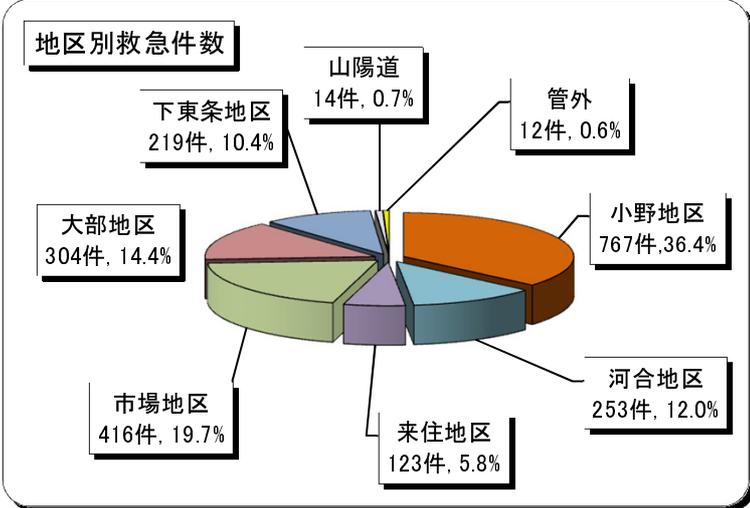
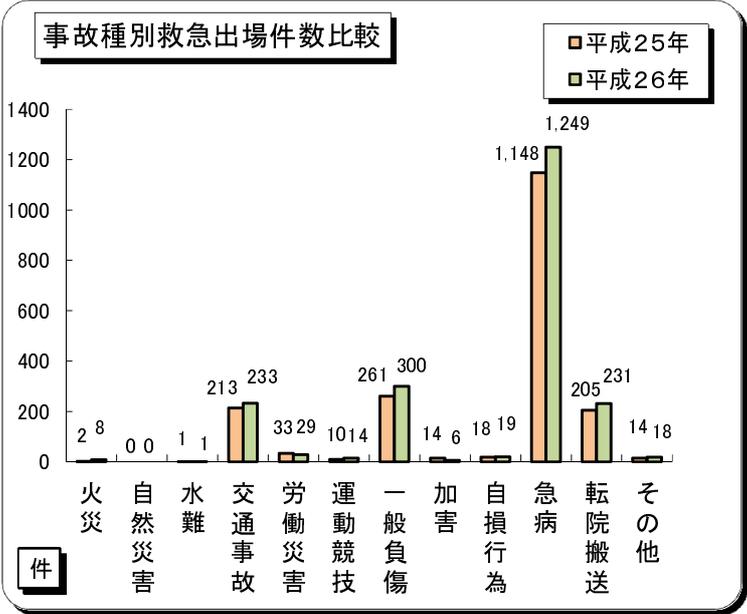
また、一日の平均出場件数は約6件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約7.4分となっています。

救急出場件数

平成26年中、2,108件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,249件と半数以上を占め、全体の約59%となります。次いで一般負傷の300件（約14%）、交通事故の233件（約11%）となっています。

昨年より増加しているのは、急病101件、一般負傷39件、転院搬送26件、交通事故20件、火災6件、運動競技4件、その他4件、自損行為1件で、逆に減少しているのが、加害8件、労働災害4件です。

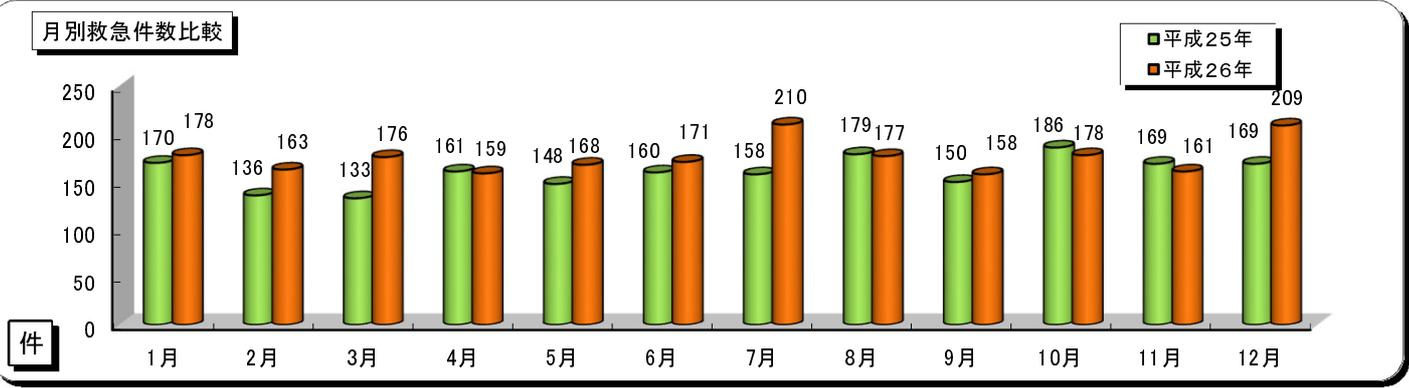
なお、水難は同数で自然災害については昨年と同じく発生していません。



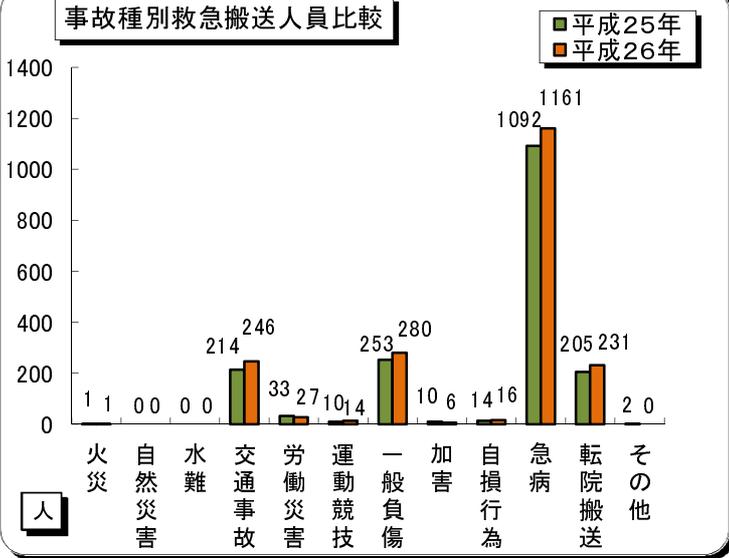
地区別救急概要

救急出場件数を地区別にみると、小野地区が767件で全体の36.4%を占め、次いで市場地区が416件、大部地区が304件、河合地区が253件、下東条地区が219件、来住地区が123件、その他（山陽道・管外）が26件となっています。

また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、7月の210件が最多で、逆に最少は9月の158件となっており、1ヶ月平均では約176件となっています。



事故種別救急搬送人員比較



搬送人員状況

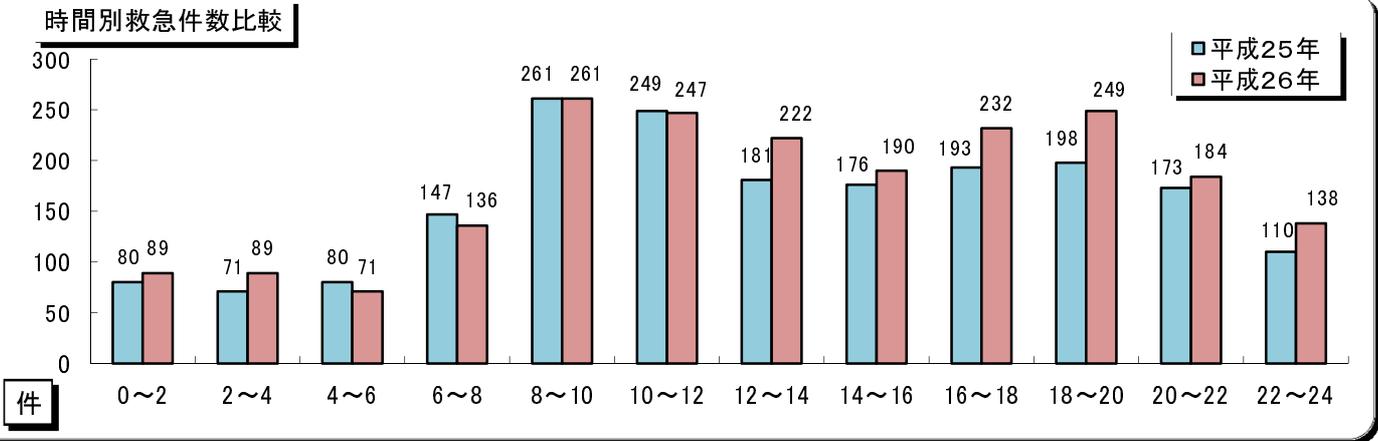
搬送人員は、1,982人で昨年より148人の増加となり、市民の約25人に1人が救急車を利用したことになります。

時間帯別でみると、8時～10時が出場のピークとなっており、曜日別では、水曜日が最も多く出場しています。

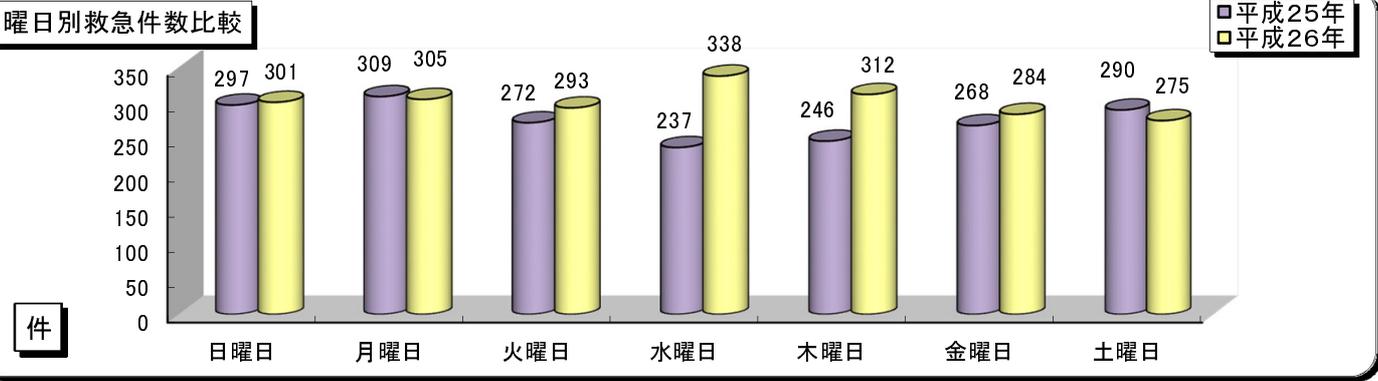
性別をみると、男性が1,056人で、女性が926人となっています。

また、年齢別にみると、60歳以上の方が1,184人で全体の約60%を占めています。

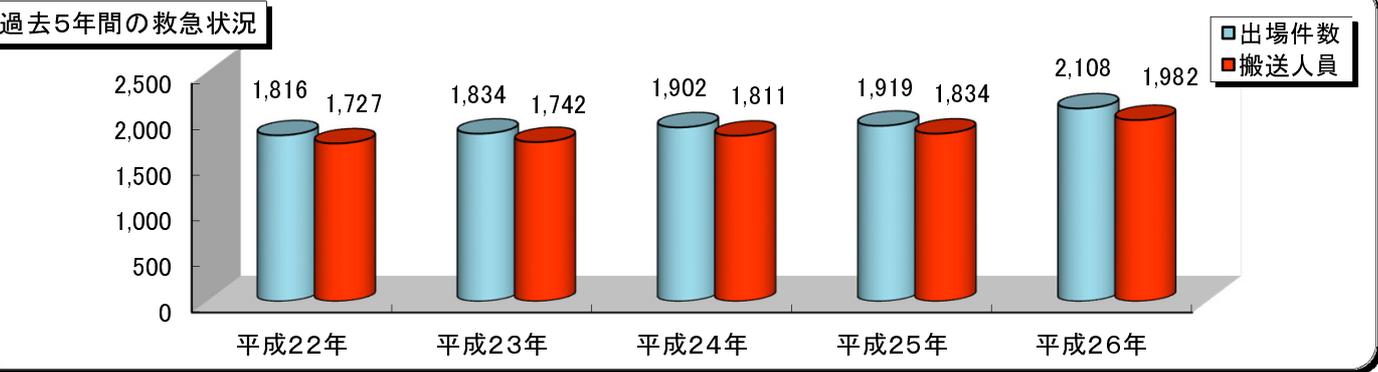
時間別救急件数比較



曜日別救急件数比較



過去5年間の救急状況

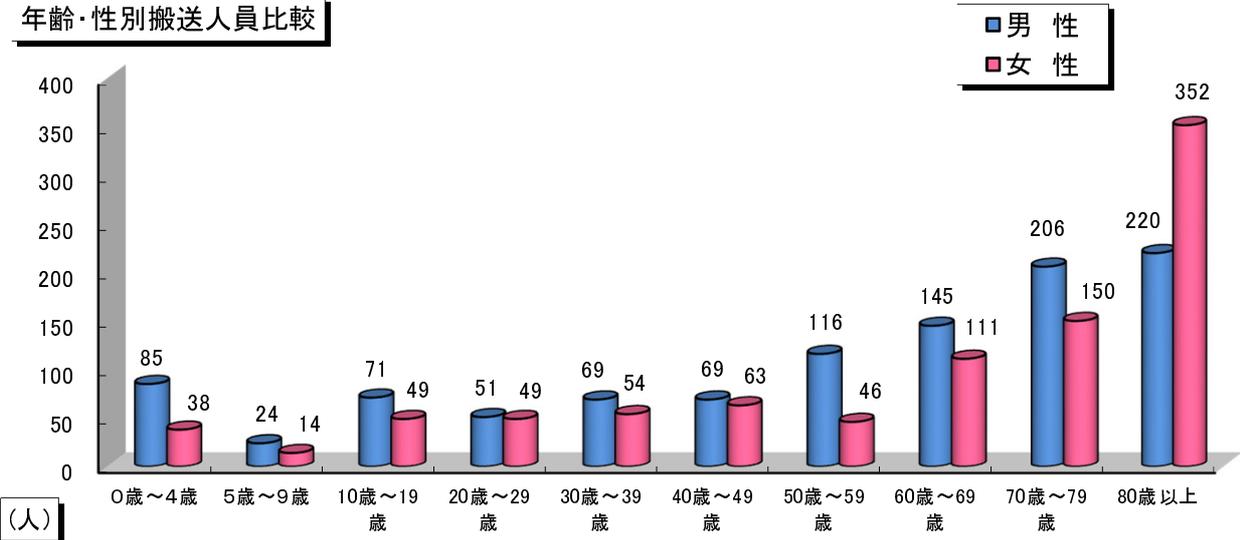


年齢・性別搬送人員比較

(単位：人)

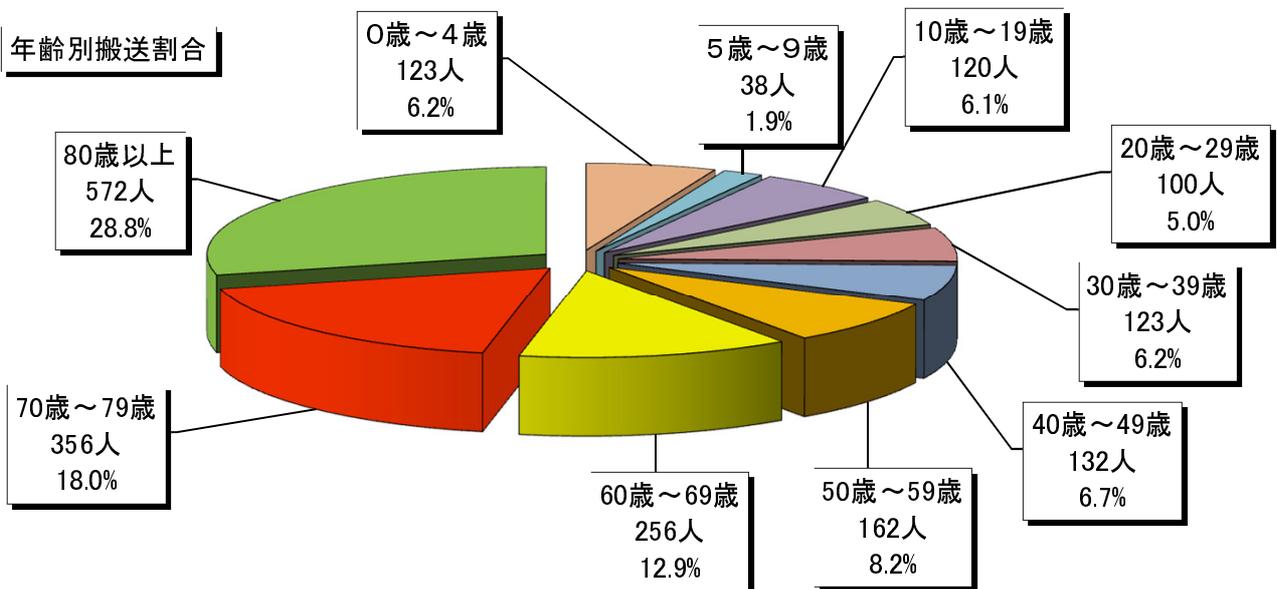
性別 年齢別	平成26年			平成25年			昨年度比較		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳	85	38	123	57	43	100	28	-5	23
5歳～9歳	24	14	38	21	15	36	3	-1	2
10歳～19歳	71	49	120	61	44	105	10	5	15
20歳～29歳	51	49	100	54	54	108	-3	-5	-8
30歳～39歳	69	54	123	64	70	134	5	-16	-11
40歳～49歳	69	63	132	71	63	134	-2	0	-2
50歳～59歳	116	46	162	120	43	163	-4	3	-1
60歳～69歳	145	111	256	125	92	217	20	19	39
70歳～79歳	206	150	356	177	137	314	29	13	42
80歳以上	220	352	572	230	293	523	-10	59	49
合計	1,056	926	1,982	980	854	1,834	76	72	148

年齢・性別搬送人員比較



(人)

年齢別搬送割合

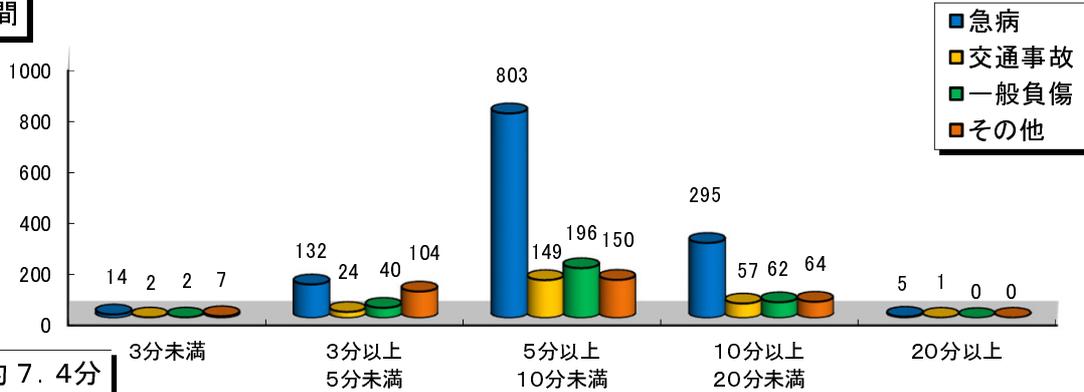


救急所要時間状況

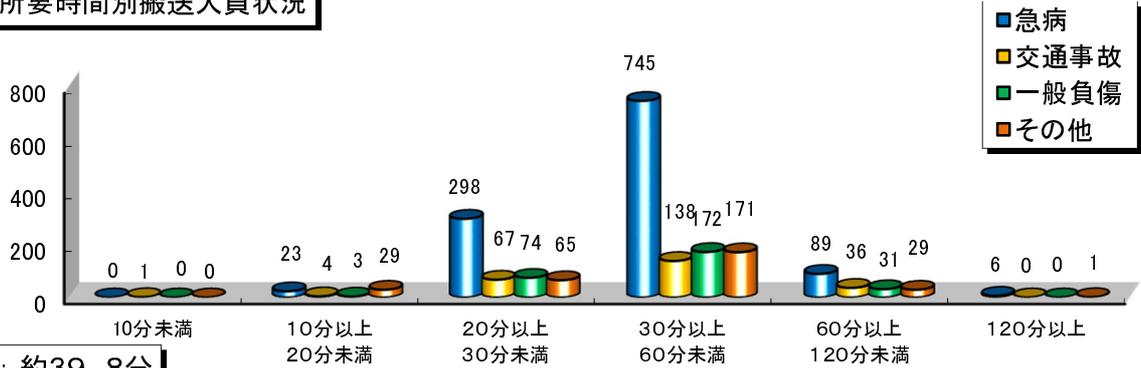
救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7.4分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約39.8分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,173人で全体の約59.1%を占め、次いで加古川市内への239人、西脇市内へ233人、加西市内へ104人となっています。

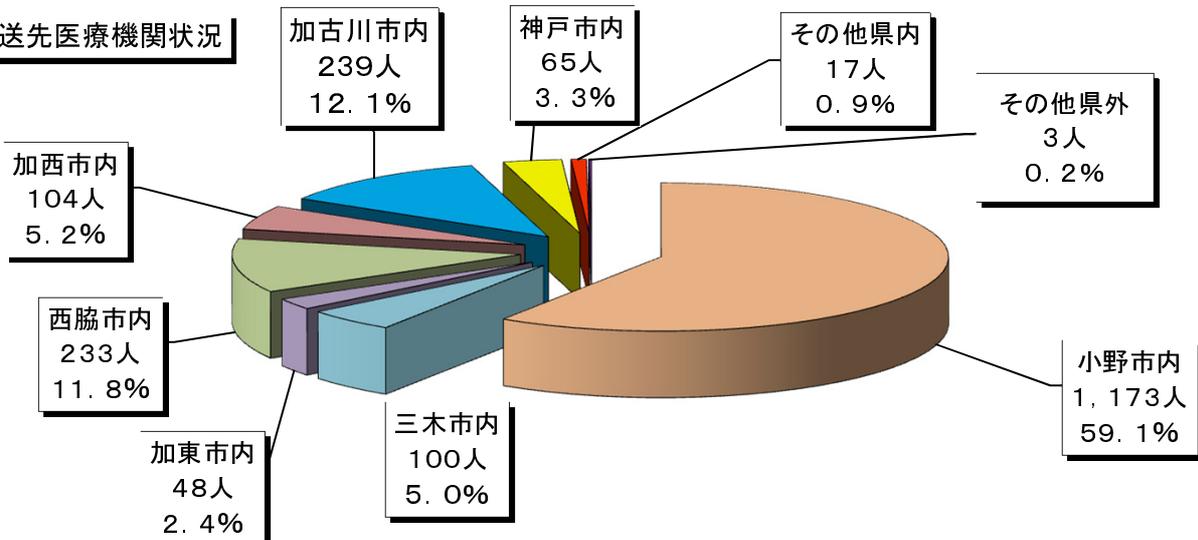
現場到着所要時間



医療機関収容所要時間別搬送人員状況



搬送先医療機関状況



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(単位:人)

搬送地別	事故種別	救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転院 搬送	その他	
小 野 市 内	0	0	0	140	14	6	168	2	6	747	90	0	1,173	
三 木 市 内	0	0	0	10	3	0	4	0	0	62	21	0	100	
加 東 市 内	0	0	0	3	1	0	13	0	1	21	9	0	48	
西 脇 市 内	0	0	0	28	4	1	44	1	1	130	24	0	233	
加 西 市 内	0	0	0	3	2	2	8	0	3	63	23	0	104	
加 古 川 市 内	1	0	0	60	2	5	35	3	4	110	19	0	239	
神 戸 市 内	0	0	0	2	1	0	8	0	0	21	33	0	65	
そ の 他 県 内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	10	0	17	
そ の 他 県 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
合 計	1	0	0	246	27	14	280	6	16	1,161	231	0	1,982	

急病件数に対する過去5年間の比較

事故種別の中で最も多いのは急病です。
昨年と比較して件数は101件、搬送人員は69人増加しています。

区 分	年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
急 病 件 数 (件)		975	1,008	1,089	1,148	1,249
全件に対する構成比		53.7%	55.0%	57.3%	59.8%	59.3%
搬 送 人 員 (人)		911	955	1,025	1,092	1,161
全搬送人員に対する構成比		52.8%	54.8%	56.6%	59.5%	58.6%

急病にかかる疾病分類別傷病程度

(単位:人)

疾病分類	傷病程度	傷 病 程 度				合 計
		死 亡	重 症	中等症	軽 症	
循 環 系	脳 疾 患	1	34	37	8	80
	心疾患等	23	22	40	37	122
	消 化 系	2	8	49	28	87
	呼 吸 系	3	18	49	36	106
	精 神 系	0	0	4	23	27
	感 覚 系	0	2	24	47	73
	泌 尿 系	0	5	15	20	40
	新 生 物 系	2	5	9	2	18
	そ の 他	1	9	66	194	270
	症状等不明確状態	3	6	95	234	338
	合 計	35	109	388	629	1,161

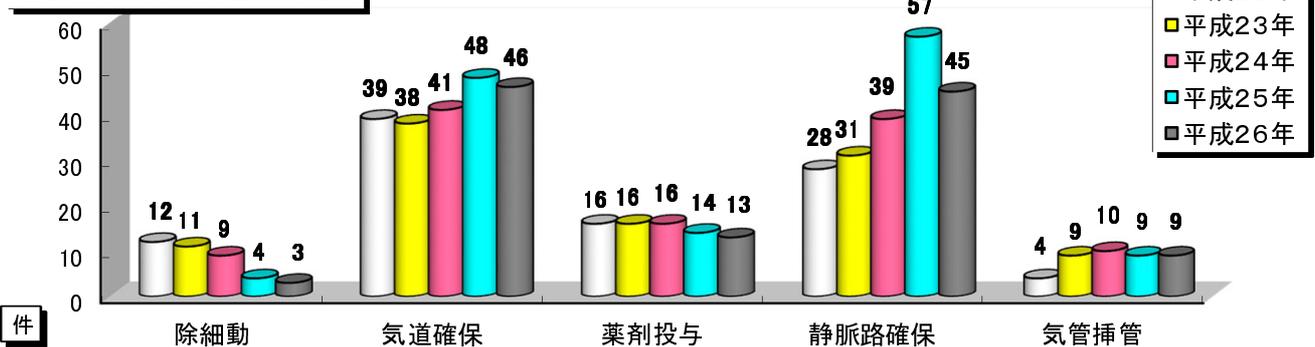
応急処置・救命処置実施状況

平成26年中の搬送人員は1,982人で、この内、救急隊員が何らかの応急処置を施したものは、全搬送人員の約98%にあたる1,942人です。応急処置実施総数は、6,799件となっています。これは搬送人員1人あたり約3件の処置をしたことになります。

また、救急救命士による救命処置件数は、対象者51人のうち、気道確保(ラリングアルチューブ等)を46件(うち気管挿管を9件)、除細動を3件、静脈路確保を45件、薬剤投与を13件実施しています。

処置別	事故種別				合計		
	急病	交通事故	一般負傷	その他			
応急処置	止血	4	7	33	10	54	
	固定	9	182	56	18	265	
	人工呼吸	2	0	0	4	6	
	胸骨圧迫	1	0	0	0	1	
	心肺蘇生		32	3	7	6	48
		うち自動	0	0	0	0	0
	酸素吸入	302	71	24	90	487	
	気道確保(特定行為除く)	5	1	4	1	11	
	保温	235	56	31	43	365	
	被覆	7	33	71	14	125	
	在宅療法継続	4	0	0	0	4	
	ショックパンツ	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	血圧測定	1,074	226	251	250	1,801	
	聴診器による心・呼吸音聴取	313	114	47	39	513	
	血中酸素飽和度測定	1,129	234	260	269	1,892	
	心電図		795	104	94	127	1,120
		うち伝送	0	0	0	0	0
応急処置合計		3,912	1,031	878	871	6,692	
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)	37	3	0	6	46	
	うち気管挿管	(3)	(0)	(6)	(0)	(9)	
	除細動	3	0	0	0	3	
	静脈路確保	29	3	7	6	45	
	薬剤投与	8	2	3	0	13	
救命処置合計		77	8	10	12	107	
応急処置総合計		3,989	1,039	888	883	6,799	
応急処置対象人員		1,159	238	268	277	1,942	

過去5年間の救命処置別推移



救 助

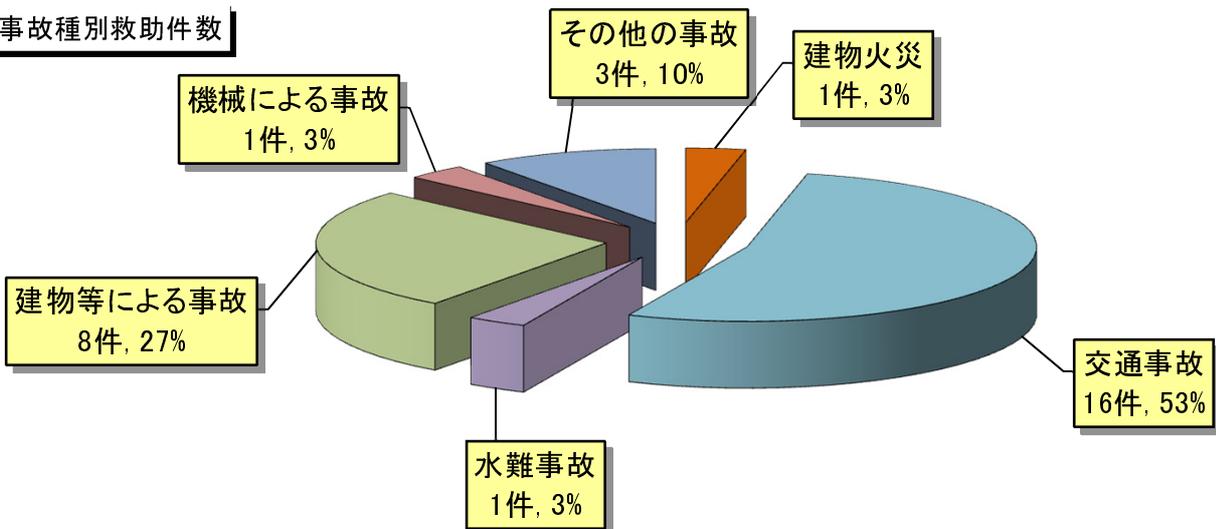
平成26年 救助概要

平成26年中の救助出動件数は30件で、活動件数は15件、このうち救助された人（救助人員）は18人でした。昨年と比較すると出動件数は4件、活動件数は6件、救助された人は9人増加しています。

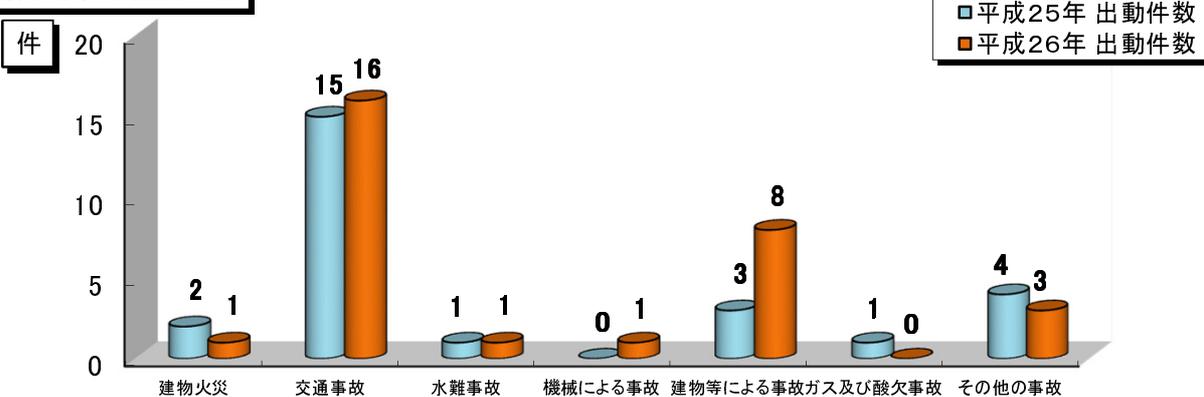
事故種別の出動件数を昨年と比較して、増加した件数は、交通事故1件、機械による事故1件、建物等による事故5件で、減少した件数は、建物火災1件、ガス及び酸欠事故1件、その他の事故1件です。水難事故の出動件数は昨年と同件数でした。

区分 事故種別	平成26年			平成25年			前年比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
建物火災	1	1	1	2	0	0	-1	1	1
交通事故	16	5	6	15	5	5	1	0	1
水難事故	1	1	1	1	1	1	0	0	0
機械による事故	1	1	1	0	0	0	1	1	1
建物等による事故	8	7	9	3	2	2	5	5	7
ガス及び酸欠事故	0	0	0	1	0	0	-1	0	0
その他の事故	3	0	0	4	1	1	-1	-1	-1
合計	30	15	18	26	9	9	4	6	9

事故種別救助件数



救助出動事故種別比較



指 令

消防通信系統図



本署・分署端末指令
一斉指令・個別指令

高所監視カメラ

職員・団員招集システム

順次指令
(非常招集・速報)

Eメール指令
(非常召集・速報・連絡)

【指令回線】

《無線機》
(デジタル) (アナログ)

活動波1	県内共通波
活動波2	全国共通波1
主運用波	全国共通波2
統制波1	全国共通波3
統制波2	
統制波3	

119番専用回線

NTT固定・IP (2回線)
携帯119通報 (2回線)
災害非常用 (1回線)
緊急通報FAX (1回線)
衛星電話 (2回線)

小野市消防本部
指令室

兵庫県災害対応総合情報
ネットワークシステム

衛星通信ネットワーク

総合気象観測装置

警察

道路公団 (専用回線)

位置情報受信システム(統合型)

一般電話回線

一般加入電話
災害案内電話
各種関係機関
各種医療機関

緊急通報システム
(ペンダント通報)

安全センター
小野市役所
協力員

119番通報状況

平成26年中の総受信件数は、8,057件で前年(6,788件)より1,269件の増加で、1日平均22件となり、市民約6人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災24件(0.3%)、救急2,092件(26%)、救助28件(0.35%)、警戒189件(2.3%)となっており、全体の28.95%を占めています。医療機関の問い合わせ件数は、3,131件(38.9%)
また、いたずらや間違い等緊急性のない通報(試験の781件除く)が1,812件(22.45%)でした。

区分 月別	災 害				試 験	いた ずら	間 違 い	問 い 合 せ (医 療 機 関)	そ の 他	合 計
	火 災	救 急	救 助	警 戒						
1月	4	185	3	13	31	0	10	340	50	636
2月	3	167	0	23	28	2	5	225	40	493
3月	1	181	1	20	31	0	6	283	58	581
4月	3	162	4	12	112	1	9	234	189	726
5月	2	160	5	17	91	0	24	352	205	856
6月	2	162	2	20	73	0	14	210	131	614
7月	3	201	4	12	67	0	11	237	163	698
8月	1	174	1	29	74	0	12	241	165	697
9月	1	156	2	6	59	1	5	230	152	612
10月	0	176	1	16	88	0	13	192	161	647
11月	2	161	1	7	59	0	15	250	179	674
12月	2	207	4	14	68	0	8	337	183	823
合計	24	2,092	28	189	781	4	132	3,131	1,676	8,057
比率(%)	0.3	26	0.35	2.3	9.7	0.05	1.6	38.9	20.8	100
前年件数	27	1,976	28	192	415	19	108	3,501	522	6,788
前年比	-3	116	0	-3	366	-15	24	-370	1,154	1,269

119番による口頭指導実施状況

項目 月別	C P R	異 物 除 去	気 道 確 保	熱 傷	創 傷	切 断 止 血	患 者 観 察	そ の 他	合 計
1月	5						13	1	19
2月	5	1					6	1	13
3月	2	2					15	1	20
4月	2						9	1	12
5月	2						2	1	5
6月	0						2	1	3
7月	5				1		4	0	10
8月	3				2		1	1	7
9月	0				1		7	1	9
10月	3				2		3	2	10
11月	6				1		5	3	15
12月	3			1	3		17	1	25
合計	36	3	0	1	10	0	84	14	148

情報テレホンサービス利用件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
110	66	93	93	153	57	89	116	62	79	89	133	1,140

※ 情報テレホンサービスとは、医療機関情報及び災害状況案内を行っている。

消防無線一覽

(平成27年4月現在)

(1) デジタル無線設備(260MHz)

種別 名称	基地局 出力10W	陸上移動局(携帯型)			備考
		車載型 出力10W	携帯型 出力5W	卓上・可搬型 出力10W	
活動波1	1	16	22	3 (卓上型1、 可搬型2)	統制波は3チャンネル 切替方式
活動波2					
主運用波					
統制波1					
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備(400MHz)

種別 名称	陸上移動局(携帯型)	備考
第1波	25	第3波は兵庫県内共通波 第4波は防災相互波
第2波	25	
第3波	25	
第4波	25	

(3) アナログ無線設備(150MHz)

種別 名称	基地局	陸上移動局(携帯型)		備考
	出力5W	出力1W	出力5W	
県内共通波	1	12	5	
防災相互波		3	1	
全国共通波1	1	10	4	
全国共通波2	1	8	1	
全国共通波3	1	8	1	

気象状況

項目 月別	風向/風速(m/s)			気温(°C)			相対湿度(%)			雨量(mm)	
	最大瞬間風速	平均風速	平均風向	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	最大時間雨量	積算雨量(日)
1月	17.3 北	1.8	静穏	14.4	-4.3	3.5	93	19.5	68.3	3.5	16
2月	17.6 北北東	3	北	15.6	-4.3	4.2	93.8	25.2	65.2	3.5	13
3月	16.8 西北西	2	静穏	21.2	-3.3	8.3	96.8	14.9	64.7	22	61
4月	16.4 南西	2	静穏	23.4	-0.1	12.6	99.7	14.4	65.2	13	43
5月	18.7 南南東	2.1	静穏	30.2	6.9	18	99.9	12.4	70.5	15	26.5
6月	18.9 東北東	1.9	静穏	31.5	15.8	22.6	99.7	26.3	77.2	17.5	23.5
7月	22.8 南南東	1.9	南南西	35.7	20.1	26.2	99.9	42.2	82.4	8	21
8月	25.5 南東	2.4	南南東	33.2	20.1	26.1	99.9	51.9	88.5	46	88
9月	14.4 南南東	1.9	静穏	31.2	13.3	22.5	99.9	32.2	78.2	14.5	27.5
10月	22.8 北北西	2.3	静穏	26.7	5.3	17.2	99.9	32.2	82.1	22.5	104.5
11月	14.9 南西	1.6	静穏	21.5	1.4	11.7	99.9	36.3	83.6	6	27
12月	17.7 西	1.6	西	17	-2.2	4.3	99.9	38	81	7	21

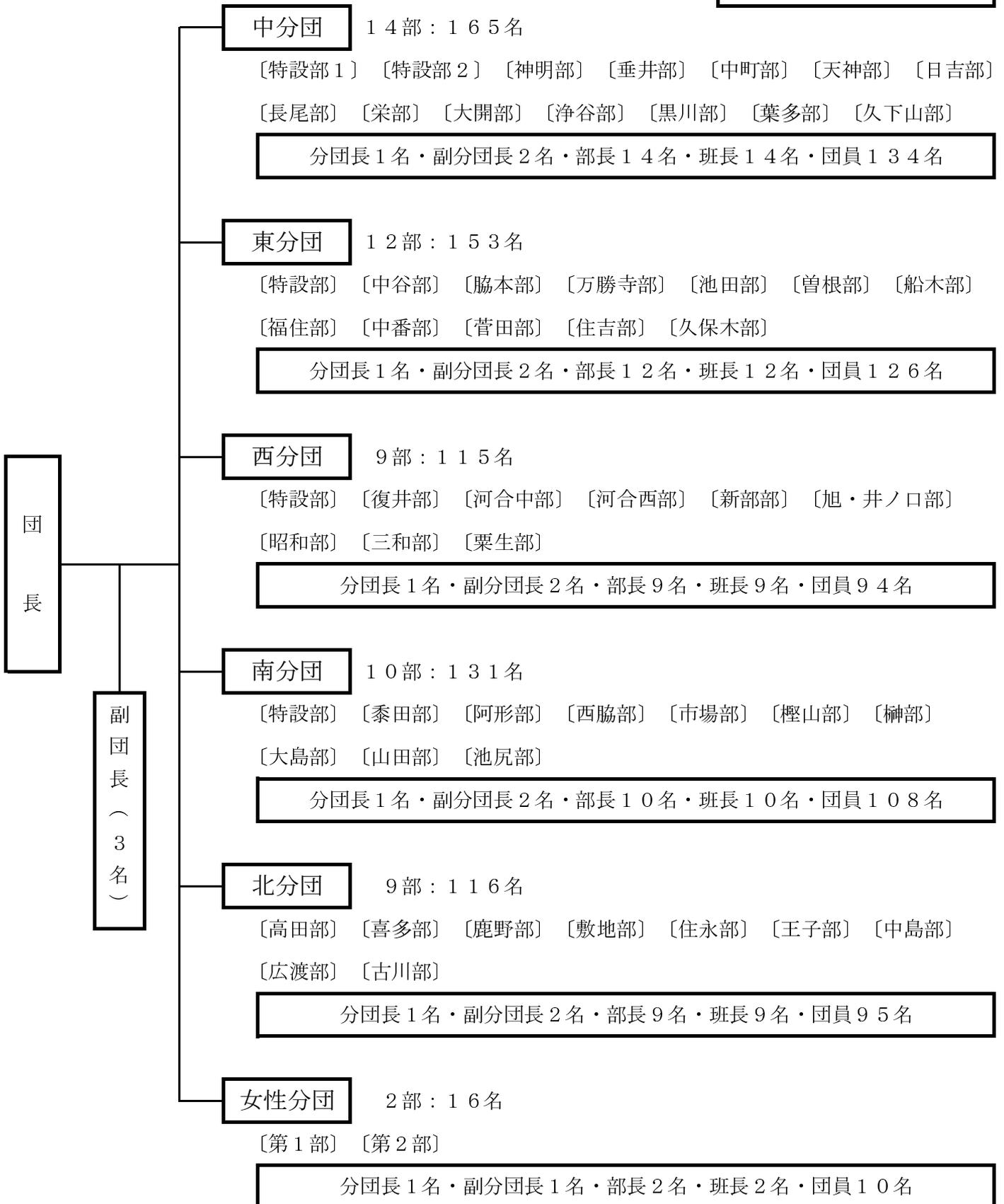
(注)小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(平成27年4月1日現在)

全56部 総数700名



平成26年度消防団行事

平成26年	4月1日	消防団協力事業所表示証交付	
	4月13日	小野市消防大会	於 小野市民会館
	5月12日	分団長会議	
	6月1日	小野市消防団消防操法大会	於 小野市王子町 庁舎西駐車場
	7月4日	分団長会議	
	7月13日	北播磨地区消防操法大会	於 兵庫県広域防災センター
	8月16日	小野まつり警戒(16日、17日)	於 大池総合運動公園周辺
	9月9日	救急の日(救急医療週間)救急キャンペーン	
	9月24日	分団長会議	
	10月19日	ひょうご消防のつどい2014	於 加古川市
	11月2月	幹部会議	
	11月9日	秋季全国火災予防運動(9日～15日)	
	12月7日	小野市ハーフマラソン警備	
	12月28日	年末警戒(28日～29日)	
平成27年	1月9日	分団長会議	
	1月25日	重要文化財防火訓練	於 浄土寺
	1～3月	火災予防特別警戒(1月～3月)	各分団
	3月1日	春季全国火災予防運動(1日～7日)	

* 消防水利(消火栓・防火水槽)点検 年2回実施 ・各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

(平成27年4月1日現在)

組 織		人 員	消防ポンプ自動車	軽四積載車	小型動力ポンプ
消 防 団		700	5	49	54
構 成 内 容	団 本 部	4			
	中 分 団	165	2	12	14
	東 分 団	153	1	11	12
	西 分 団	115	1	8	9
	南 分 団	131	1	9	10
	北 分 団	116		9	9
	女 性 分 団	16			

消防団員出動状況

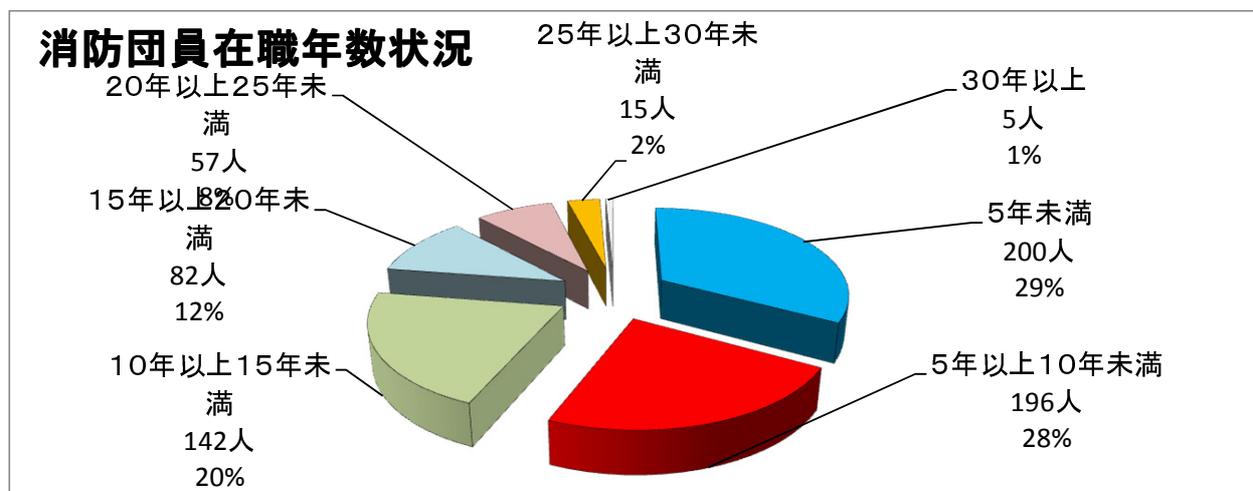
(平成26年度中)

区分	出動種別	火災	風水害の災害	演習訓練	特別警戒	その他	うちたずら等の誤報・誤認	合計
出動回数		13	1	560	4	188		766
前年出動回数		7	6	67	4	179	0	263
出動延人員		124	180	4,897	1,145	6,896		13,242
前年出動延人員		66	245	1,555	1,304	6,118	0	9,288

消防団員の在職年数状況

(平成27年4月1日現在)

在職年数	人数(うち女性)
5年未満	231 (3)
5年以上10年未満	163 (5)
10年以上15年未満	148 (8)
15年以上20年未満	75
20年以上25年未満	55
25年以上30年未満	23
30年以上	5
合計	700



年齢別消防団員数

(平成27年4月1日現在)

階級 年齢	小計		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
		うち女性								
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳	2	0	0	0	0	0	0	0	2	40
21歳	2	0	0	0	0	0	0	1	1	42
22歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3	66
23歳	10	0	0	0	0	0	0	0	10	230
24歳	12	1	0	0	0	0	0	0	12	288
25歳	10	0	0	0	0	0	0	2	8	250
26歳	17	1	0	0	0	0	4	1	12	442
27歳	17	1	0	0	0	0	1	5	11	459
28歳	29	0	0	0	0	0	2	8	19	812
29歳	31	1	0	0	0	0	4	3	24	899
30歳	33	1	0	0	0	0	2	5	26	990
31歳	39	0	0	0	0	0	4	5	30	1,209
32歳	29	0	0	0	0	0	2	2	25	928
33歳	34	0	0	0	0	0	5	3	26	1,122
34歳	46	1	0	0	0	0	3	1	42	1,564
35歳	36	0	0	0	0	0	5	1	30	1,260
36歳	38	0	0	0	0	0	4	2	32	1,368
37歳	33	0	0	0	0	0	3	2	28	1,221
38歳	37	0	0	0	0	0	2	3	32	1,406
39歳	28	0	0	0	0	1	1	2	24	1,092
40歳	33	0	0	0	0	1	3	1	28	1,320
41歳	27	1	0	0	0	1	3	4	19	1,107
42歳	28	2	0	0	1	3	1	3	20	1,176
43歳	23	0	0	0	0	1	2	0	20	989
44歳	22	0	0	0	1	0	1	0	20	968
45歳	14	1	0	0	0	3	0	0	11	630
46歳	9	0	0	0	1	0	1	0	7	414
47歳	4	0	0	1	0	0	0	0	3	188
48歳	9	0	0	0	1	0	0	0	8	432
49歳	7	3	0	0	0	0	1	0	6	343
50歳	7	0	0	0	1	0	0	0	6	350
51歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	51
52歳	4	1	0	1	0	0	1	1	1	208
53歳	4	0	0	1	0	0	0	0	3	212
54歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0	54
55歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	55
56歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	56
57歳	3	1	1	0	0	0	0	0	2	171
58歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	58
59歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3	177
60歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	60
61歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	61
62歳	3	1	0	0	0	0	0	0	3	186
63歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64歳	2	0	0	0	0	0	0	0	2	128
65歳以上	5	0	0	0	0	0	1	1	3	680
合計	700	16	1	3	6	11	56	56	567	25,762
平均		41.1	57.0	50.7	48.0	43.5	34.4	32.1	35.9	36.8

消防団員等公務災害発生状況

(平成26年度)

区分 災害種別	階級別						傷病程度					
	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団員	消防作業従事者	一週間未満	一週間～二週間	二週間～一ヶ月	一ヶ月～三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
消防訓練中					1			1				
特別警戒中												
その他												
合計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

消防団表彰状況

種別	年度別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		消防庁長官	団体			
	個人			1	1	1
日本消防協会	団体					
	個人	4	4	3	3	3
日本消防協会(特別)	団体					
	個人	1				
兵庫県知事	団体					
	個人	4	2	3	3	3
兵庫県消防協会	団体		1			
	個人	15	13	15	15	20
北播消防協議会	団体	1	1	1	1	1
	個人	13	15	15	15	15
小野市長	個人	8	8	7	7	10
小野市消防団長	団体	10	10	10	10	10
	個人	46	43	58	52	47

消防自動車の現況

《特設部別》

(平成27年3月31日現在)

種別	分 団 別	車 番	車 種	年 式	級 別	排気量	登録年月日
消 自 防 ポ ン プ 車	中分団特設部	800 す 9295	日 野	平成18年	A-2	4.00	平成18年 3月22日
		800 そ 235	トヨタ	平成24年	A-2	4.00	平成24年11月13日
	東分団特設部	800 そ 1602	トヨタ	平成25年	A-2	4.00	平成25年11月11日
	西分団特設部	800 さ 7028	日 野	平成12年	A-2	4.89	平成12年12月12日
	南分団特設部	800 す 7970	日 野	平成17年	A-2	4.00	平成17年 9月 2日

《分団別》

(平成27年3月31日現在)

種別	分団別	部 別	車 番	車 種	年 式	登録年月日
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (軽 四)	中分団	神 明 部	880 あ 225	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		垂 井 部	880 あ 2568	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
		中 町 部	880 あ 2913	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		天 神 部	80 あ 1643	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		日 吉 部	880 あ 2147	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		長 尾 部	800 あ 866	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		栄 部	880 あ 227	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		大 開 部	880 あ 2912	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		浄 谷 部	80 あ 2909	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		黒 川 部	80 あ 1285	スバル	平成 7年	平成 7年10月19日
		葉 多 部	880 あ 3274	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
	久 下 山 部	880 あ 1227	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日	
	東分団	中 谷 部	880 あ 865	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		脇 本 部	80 あ 2157	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		万 勝 寺 部	80 あ 2643	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		池 田 部	80 あ 2159	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		曾 根 部	80 あ 1466	スバル	平成 8年	平成 8年12月 5日
		船 木 部	80 あ 1786	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		福 住 部	800 あ 518	三 菱	平成18年	平成18年 9月 3日
		中 番 部	80 あ 1785	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		菅 田 部	80 あ 1970	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		住 吉 部	80 あ 1968	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		久 保 木 部	880 あ 2567	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
	西分団	復 井 部	80 あ 954	三 菱	平成 4年	平成 4年 9月12日
		河 合 中 部	80 あ 2158	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		河 合 西 部	80 あ 953	三 菱	平成 4年	平成 4年 9月12日
		新 部	80 あ 2644	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		旭・井ノ口部	880 あ 1825	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		昭 和 部	80 あ 1644	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		三 和 部	80 あ 3218	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
	南分団	粟 生 部	80 あ 1164	三 菱	平成 6年	平成 6年 9月22日
		黍 田 部	880 あ 1226	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日
		阿 形 部	80 あ 1967	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		西 脇 部	80 あ 1969	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		市 場 部	80 あ 1395	スバル	平成 8年	平成 8年 7月16日
		檜 山 部	800 あ 519	三 菱	平成18年	平成18年 9月 3日
		榊 部	880 あ 1824	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		大 島 部	80 あ 1396	スバル	平成 8年	平成 8年 7月16日
	北分団	山 田 部	880 あ 226	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		池 尻 部	80 あ 3219	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
		高 田 部	80 あ 2910	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		喜 多 部	880 あ 2148	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		鹿 野 部	880 あ 3273	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		敷 地 部	800 あ 1565	スバル	平成21年	平成21年 9月11日
		住 永 部	80 あ 1287	スバル	平成 7年	平成 7年10月19日
		王 子 部	80 あ 820	三 菱	平成 3年	平成 3年 7月16日
		中 島 部	80 あ 1165	三 菱	平成 6年	平成 6年 9月22日
広 渡 部		80 あ 979	三 菱	平成 4年	平成 4年12月 6日	
古 川 部		800 あ 1566	スバル	平成21年	平成21年 9月11日	

小野市消防の沿革

1954年(昭和29年)

- 12月** 6か町村(小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村)の合併により、小野市が発足
同時に『小野市連合消防団』(1,375名)を組織

1956年(昭和31年)

- 4月** 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、特設分団(分団員50名)を発足
10月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1957年(昭和32年)

- 5月** 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1960年(昭和35年)

- 4月** 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年(昭和38年)

- 4月** 榊分団を新設
10月 水槽付消防自動車を配備

1965年(昭和40年)

- 4月** 消防本部及び消防署を設置
大開分団を新設し、団員1,414名となる。
12月 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川(通称草加野)の両地区の消防行政を、小野市消防本部が受託する。

1966年(昭和41年)

- 12月** 救急自動車(A級)を配備し、救急業務を開始

1968年(昭和43年)

- 4月** 消防団員の定員を1,144名とする。
東部特設分団(小田)を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車(A2級)を配備
5月 消防ポンプ自動車(BD-1型)を受納

1970年(昭和45年)

- 2月** 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年(昭和46年)

- 4月** 化学消防自動車(I型)を配備
6月 消防庁舎新築

1972年(昭和47年)

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。
また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。

1973年(昭和48年)

- 10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年(昭和49年)

- 1月 救急自動車(B3型)を配備(更新)
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置
消防団機構は、5分団54部となる。

1975年(昭和50年)

- 3月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1977年(昭和52年)

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車(RH42VB型)の寄贈を受ける。

1979年(昭和54年)

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置(本部に親局、市内9か所に子局)を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備
消防ポンプ自動車(BD-I級)を受納

1980年(昭和55年)

- 3月 指令車を配備

1981年(昭和56年)

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
- 12月 救急車(RH45VB型)の寄贈を受ける。

1982年(昭和57年)

- 3月 消防署の車庫を増築(市役所第4庁舎)
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年(昭和58年)

- 12月 東分団特設部詰所増改築

1984年(昭和59年)

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(A1級)を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年(昭和60年)

2月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

1986年(昭和61年)

4月 消防本部に水防倉庫設置

5月 殺菌灯付ロッカー(救急用)の寄贈を受ける。

10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年(昭和62年)

6月 広報車の寄贈を受ける。

10月 救急車の寄贈を受ける。

気象観測装置整備

1988年(昭和63年)

1月 西分団に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備(更新)

2月 消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

3月 消防訓を制定

4月 指令車を配備(更新)

8月 小型動力ポンプ積載車を配備

11月 南分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1989年(平成元年)

1月 水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を配備(更新)

8月 普通貨物自動車を配備(更新)

11月 救急車(2B型)の寄贈を受ける。

12月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1990年(平成2年)

3月 消防緊急情報システム(I型)を配置

1991年(平成3年)

3月 全国共通波(第1波)基地局設備整備
消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年(平成4年)

2月 南分署庁舎新築(延678.85㎡)

3月 署所端末装置及び消防無線(救急波)整備事業完了
救急自動車(2B型)の寄贈を受ける。

1993年(平成5年)

1月 河合水防倉庫新築

3月 消防庁舎改修工事完成

南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫(17.5㎡)を増築、化学消火薬剤10klを備蓄

8月 消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受ける。

11月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1994年(平成6年)

3月 準高規格救急車を配備

1995年(平成7年)

2月 東分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)
3月 消防緊急通信指令施設(地図等検索装置)整備事業完了
市町村波基地局消防無線設備を整備(更新)
12月 救助工作車(II型)を配備

1996年(平成8年)

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始(準高規格救急自動車の更新)
県内共通波基地局消防無線設備を整備(更新)

1997年(平成9年)

3月 耐震性貯水槽飲料水兼用(100m³型)を整備
6月 査察車を配備
7月 指令車を配備(更新)

1998年(平成10年)

1月 全国共通波(第1、2波)基地局消防無線設備整備
3月 化学消防自動車(II型)を配備(更新)
10月 小型動力ポンプ積載車を配備(更新)
指揮広報車を配備
12月 コミュニティ消防センター(中分団特設部詰所併設)新築
南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年(平成11年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車の更新)
4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年(平成12年)

12月 西分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2001年(平成13年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車を更新)
4月 消防団女性分団が発足
9月 屈折はしご自動車(20m級)を配備(更新)

2002年(平成14年)

8月 総合気象観測装置整備(更新)
9月 消防職・団員召集システム整備

2004年(平成16年)

4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。
12月 消防資機材搬送車を配備(更新)

2005年(平成17年)

2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
3月 下東条地域防災拠点施設(東分団特設部詰所)建設

2005年(平成17年)

9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2006年(平成18年)

3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2007年(平成19年)

3月 高規格救急自動車を配備(更新)

10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年(平成20年)

2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年(平成22年)

2月 高規格救急自動車を配備(更新)

3月 通信指令システム更新(位置情報システム導入)

3月 消防庁舎耐震化

4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年(平成23年)

5月 査察車を配備(更新)

10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車(B2ポンプ)を配備

2012年(平成24年)

3月 高規格救急自動車を配備(更新)

4月 消防救急デジタル無線 電波伝搬調査

11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2013年(平成25年)

1月 消防救急デジタル無線 基本・実施設計

3月 小野市防災センター起工

7月 軽四資機材積載車を配備(更新)

11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2014年(平成26年)

4月 臨時北部救急拠点開設

4月 小野市防災センター開設

4月 消防救急デジタル無線 整備

2015年(平成27年)

2月 救助工作車(II型)を配備(更新)

消防応援協定の締結状況

(平成27年4月1日現在)

締結年月日	内 容
昭和52年 2月 1日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との申し合わせ
平成20年 3月 5日	加古川市と消防相互応援に関する協定
平成23年 3月14日	三木市と消防相互応援に関する協定
平成23年 5月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成25年 4月 1日	山陽自動車道消防相互応援に関する協定
平成25年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定

《全国統一防火標語》

無防備な 心に火災が かくれんぼ

《小野市統一防火標語》

「消しました」 火事と無事との 分かれ道

《林野火災防火標語》

伝えよう 森の大事さ 火の怖さ

《危険物安全週間推進標語》

無事故へと 気持ち集中 はっけよい



平成26年版 消防年報

発行年月日 平成27年7月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電話 (0794) 63-0119

FAX (0794) 63-7199

Eメール : syobo@city.ono.hyogo.jp

小野市ホームページ : <http://www.city.ono.hyogo.jp>